

第2次中泊町長期総合計画

実施計画（1期）

平成29年度～平成31年度



青森県 中泊町

平成29年11月

● ● 目 次 ● ●

第1章 実施計画の策定にあたって

1 基本的な考え方	1
2 実施計画における財政予測	2
3 将来に向けて目指す町の姿（将来像）	5

第2章 基本目標・実施計画

1 基本目標	6
2 施策体系	8
3 重点プロジェクトの取り組み	9
(1) 中泊ブランド推進地域活性化プロジェクト	10
(2) 中泊メバ活プロジェクト～津軽海峡メバルによる水産観光の創生～	11
(3) 総合福祉健康センター建設事業	13
～PFI（民間資金等活用事業）による建設・維持管理・運営～	
(4) 中里地区排水路整備事業	16
(5) 中泊町総合運動公園改修事業	17

■ 活力・賑わいを創出するまちづくり（産業振興施策）

1-1 大地の恵を供給する農林業のまち（農林業）	18
1-2 海の幸を守り育てる漁業のまち（水産業）	22
1-3 地域の魅力を活かし、交流を深めるまち（観光業）	24
1-4 地域の賑わいと暮らしを支える商工業のまち（商工業）	29
1-5 新たな地域の活力を生み出すまち（雇用対策・新産業の育成）	30

■ 健康でともに支え合うまちづくり（保健・医療・福祉施策）

2-1 住民一人ひとりが健やかに暮らせるまち（健康づくり・保健活動）	33
2-2 安心して子どもを生み、健やかに育つまち（子育て支援）	36
2-3 生きがいと尊厳を持って高齢期を過ごせるまち（高齢福祉）	40

2-4	地域の支えで自立をめざせるまち（障がい福祉）	43
2-5	地域でともに支え合うまち（地域福祉）	45
2-6	安心して医療を受けられるまち（医療）	48

■ 豊かな心と郷土を育むまちづくり（教育・文化施策）

3-1	子どもたちがいきいきと学び育つまち（学校教育・青少年健全育成）	50
3-2	学びを通じて心の豊かさや交流を生むまち（社会教育・家庭教育）	56
3-3	スポーツを通じて人や地域つながりをつくるまち（社会体育）	59
3-4	郷土の歴史文化を継承するまち（地域文化・芸術活動）	61

■ 環境と共生する安全安心なまちづくり（生活環境施策）

4-1	秩序ある町土・景観を保全するまち（土地利用・景観）	64
4-2	快適で住みよい環境へ定住するまち（住環境・定住促進）	66
4-3	道路・通信網で地域や暮らしの利便をつなぐまち （道路・公共交通・情報通信）	69
4-4	安全な水の供給と水資源を保全するまち（上下水道）	73
4-5	環境にやさしく資源を循環するまち（循環型社会・環境保全）	75
4-6	いざというときに備えるまち（消防・救急体制・防災）	77
4-7	暮らしと地域の安全を守るまち（防犯・交通安全）	80

■ 持続可能なまちづくり（協働・行財政運営施策）

5-1	ともに支え合い、行動するまち（地域コミュニティ・住民協働）	81
5-2	男女がともに活躍するまち（男女共同参画）	83
5-3	健全な行財政運営を推進するまち（行財政運営）	84
5-4	ともに地域の発展を推進するまち（広域行政・地域間連携）	87

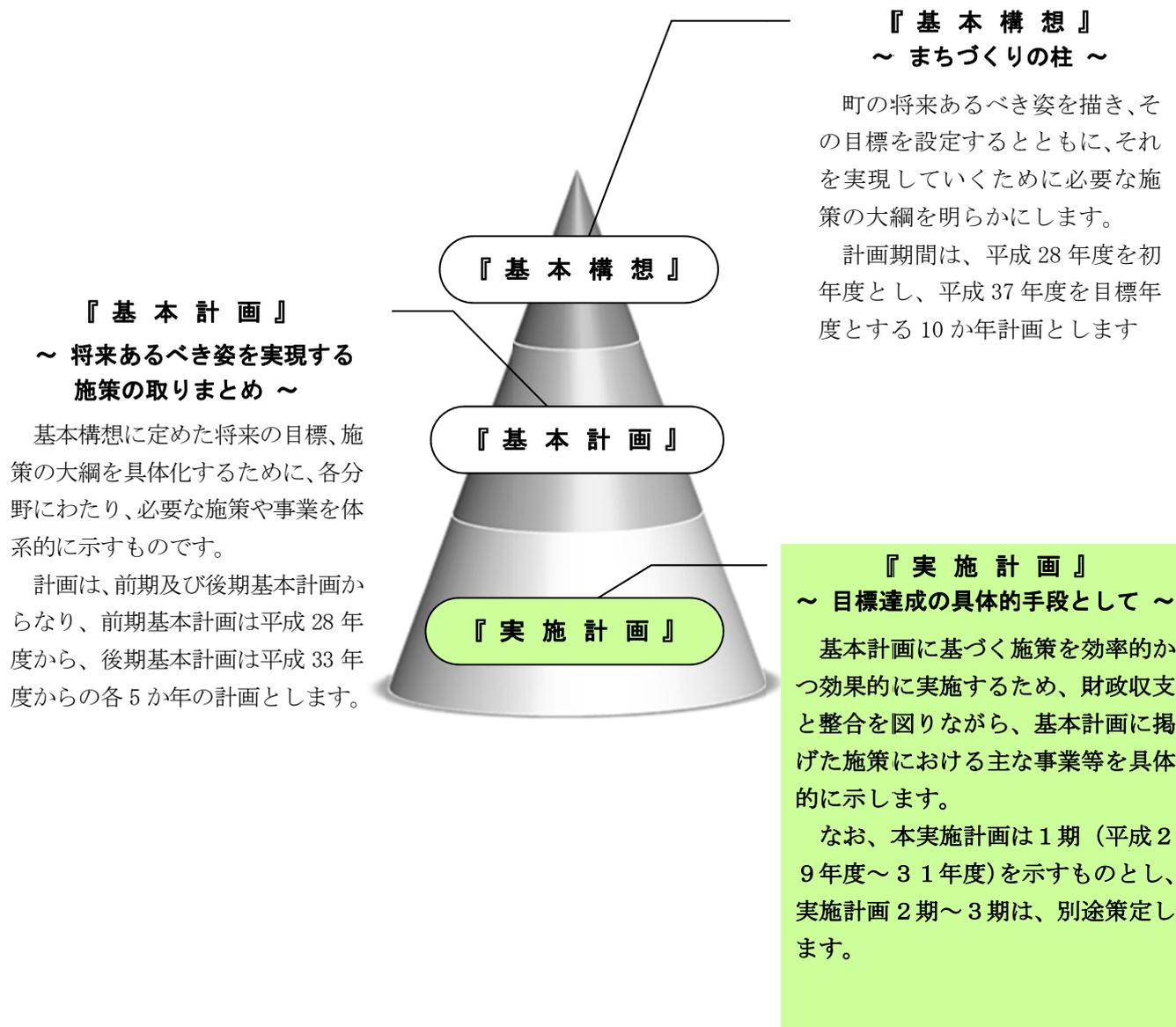
第1章 実施計画策定にあたって

1 基本的な考え方

実施計画は、第2次中泊町長期総合計画で設定した将来像の実現に向けて、事業を計画的に推進するとともに、健全な行財政運営を図るために3年間の財政見通しを踏まえて策定したもので、計画期間における町政執行の基礎となるものです。

(1) 計画の構成

計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」により構成します。
各要素の役割は、次のとおりです。



(2) 計画期間

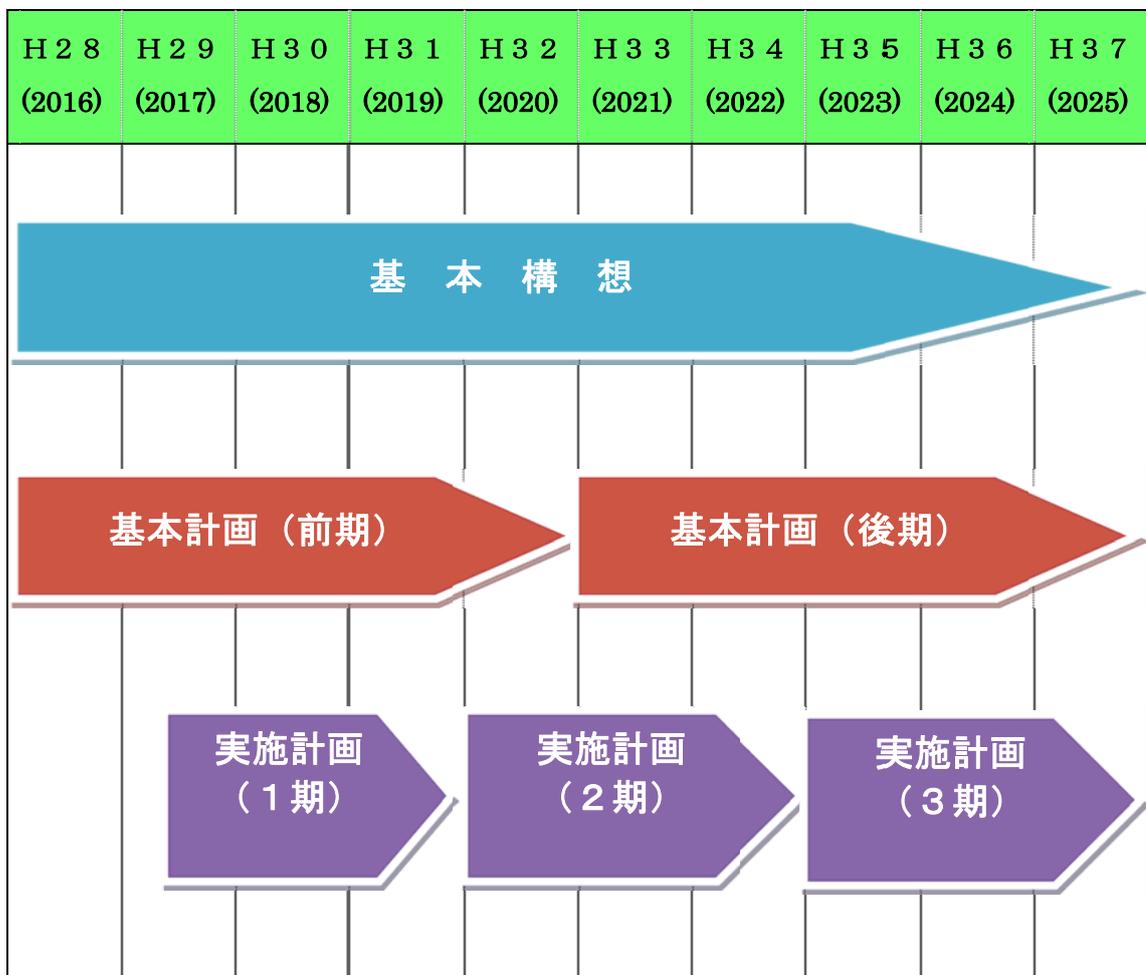
基本構想、基本計画、実施計画の計画期間は以下のとおりです。

[基本構想] 平成 28 年度 (2016 年度) ～平成 37 年度 (2025 年度)

[基本計画] 前期 平成 28 年度 (2016 年度) ～平成 32 年度 (2020 年度)
後期 平成 33 年度 (2021 年度) ～平成 37 年度 (2025 年度)

[実施計画] 1 期 平成 29 年度 (2017 年度) ～平成 31 年度 (2019 年度)
2 期 平成 32 年度 (2020 年度) ～平成 34 年度 (2022 年度)
3 期 平成 35 年度 (2023 年度) ～平成 37 年度 (2025 年度)

※ 実施計画 2 期～3 期は今後の財政状況等を踏まえて、別途策定いたします。



2 実施計画における財政予測

実施計画を着実に推進していくためには、計画期間内の財政収支の見通しを可能な限り明らかにし、事業の実施に要する財源を確保することが必要です。

この財政予測は、平成29年度予算と整合を図りながら、一般会計ベースで実施計画期間である平成31年出までの3年間の財政を予測します。

歳入	平成29年度 見込み額(千円)	平成30年度 見込み額(千円)	平成31年度 見込み額(千円)
市町村税	794,098	703,759	863,733
地方贈与税	67,000	67,000	67,000
利子割交付金	500	1,200	1,200
配当割交付金	1,800	1,400	1,400
株式等譲渡所得割交付金	600	600	600
地方消費税交付金	187,000	196,000	194,000
自動車取得税交付金	12,000	8,000	8,000
地方特例交付金	1,258	760	760
普通交付税	3,894,646	3,809,000	3,597,000
普通交付税	3,386,546	3,489,000	3,287,000
特別交付税	330,000	320,000	310,000
臨時財政対策債	178,100	0	0
(普通交付税+臨時財政対策債)	3,564,646	3,489,000	3,287,000
交通安全対策特別交付金	695	600	600
(一般財源計)	4,959,597	4,788,319	4,734,293
分担金・負担金	1,216	1,168	1,168
使用料・手数料	99,425	89,287	91,163
国庫支出金	623,602	608,148	562,703
県支出金	527,281	553,111	552,213
財産収入	16,584	15,629	13,652
寄附金	50,000	30,000	30,000
繰入金	150,188	50,348	50,348
うち基金取崩額	150,000	50,000	50,000
繰越金	152,952	121,225	153,406
諸収入	164,054	102,247	80,798
地方債	618,700	725,900	658,300
歳入総額	7,363,599	7,085,382	6,928,044

歳 出	平成 29 年度 見込み額(千円)	平成 30 年度 見込み額(千円)	平成 31 年度 見込み額(千円)
人件費	1,115,842	1,092,225	1,053,474
うち職員給	668,917	661,624	644,984
助成費	797,348	826,886	820,175
うち市町村単独分	154,472	163,150	160,050
公債費	1,131,308	1,155,813	1,168,982
うち元利償還金	1,130,544	1,155,063	1,168,232
物件費	1,219,576	895,199	892,566
維持補修費	166,890	171,244	171,244
補助費等	1,148,054	1,216,467	1,219,558
うち一組負担金	527,922	580,975	585,101
積立金	87,220	55	55
投資・出資・貸付金	2,650	2,800	2,800
繰出金	741,994	769,162	768,341
普通建設事業費	831,492	802,125	769,556
うち補助事業費	336,485	232,512	153,348
うち単独事業費	495,007	569,613	616,208
歳出総額	7,242,374	6,931,976	6,866,751

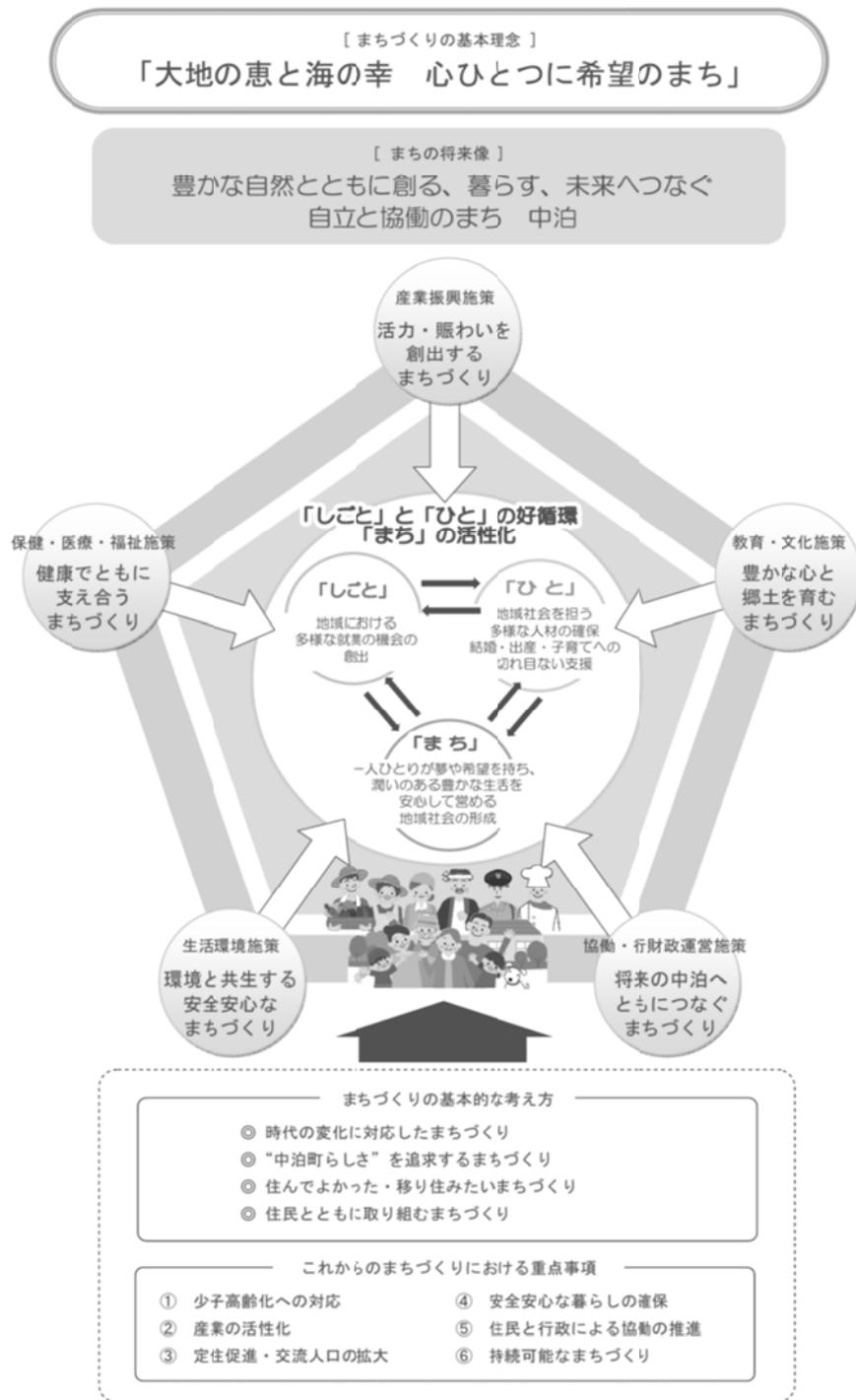
普通会計に係る財政指標等	平成 29 年度 見込み額(千円)	平成 30 年度 見込み額(千円)	平成 31 年度 見込み額(千円)
基金合計	2,083,979	2,034,046	1,984,264
財政調整基金	1,289,955	1,239,959	1,189,993
減債基金	8,250	8,250	8,251
その他特定目的基金	785,774	785,837	786,020
地方債残高	12,529,840	12,177,352	11,733,568
健全化判断比率			
実質収支比率(15.0 以内)	2.63	3.40	1.37
連結実質収支比率(20.0 以内)	6.65	7.51	5.52
実質公債費比率(25.0 以内)	8.90	9.40	10.20
将来負担比率(350.0 以内)	105.70	111.10	105.00

3 将来に向けて目指すまちの姿（将来像）

少子高齢化が進行する中で、これからのまちづくりを推進していくためには、住民一人ひとりが厳しい社会環境を認識し、それを乗り越えていくために、人やまちを未来へ継承する持続可能なまちづくりを行っていくことが重要です。

そこで、自然のもたらす恩恵を活かし、将来に向けて住民とともに目指すまちの姿（将来像）を『豊かな自然とともに創る、暮らす、未来へつなぐ自立と協働のまち 中泊』とします。

図表 将来像の実現に向けたまちづくりのイメージ



第2章 基本目標

1 基本目標

基本理念に基づくまちづくりを実践し、将来像に掲げるまちを実現していくために、次の5つを本町の目指すまちづくりの基本目標とします。

基本目標1：活力・賑わいを創出するまちづくり

(産業振興施策)

本町のさらなる発展と定住人口の促進に結びつく地域経済活動の実現に向けて、第1次産業を基幹とした町内産業の振興を図るとともに、*6次産業の振興や観光・交流事業を通じた産業間の連携等により、新たな産業や雇用を生み出していくなど、人やまちの活力・賑わいを創出するまちを目指します。

また、若年層の町外流出の抑制と労働人口の定着化を図るため、安定した雇用の場の確保と情報提供の充実を図ります。

*6次産業：1次産業（農林水産業）×2次産業（加工）×3次産業（情報サービス）＝6次産業

農林水産物の生産（1次産業）から加工（2次産業）・販売（3次産業）までを手掛ける総合産業のこと。

基本目標2：健康でともに支え合うまちづくり

(保健・医療・福祉施策)

生活習慣病予防や介護予防といった予防に重点を置いた健康づくりを推進するとともに、保健、医療、福祉等が連携して住民の健康寿命の延伸を図ります。

また、母子保健活動や子育て不安を解消するための子育て支援サービスの充実等、新たな子育て支援制度に基づく子ども・子育て支援施策を推進し、若い世代が安心して子どもを生み育てられる環境づくりを推進します。

さらに、高齢者や障がいのある人等が住み慣れた地域で生きがいを感じながら暮らし続けられる環境を整備し、健康をともに支え合うまちを目指します。

基本目標3：豊かな心と郷土を育むまちづくり

(教育・文化施策)

学校教育においては、子どもの個性に応じた教育を推進し、生きる力と思いやり、郷土愛を育む教育の充実に努めるほか、住民が町内の自然環境や歴史や文化、教育・学習環境を活用し、生涯にわたって学び、様々な場面で活躍できる人材の育成に努めます。

また、スポーツ活動に親しむことができる環境を整備するとともに、多様な芸術や文化、歴史に触れることができる豊かな心と郷土を育むまちを目指します。

基本目標 4：環境と共生する安全安心なまちづくり

(生活環境施策)

暮らしやすいまちとしていくために、ごみの減量化や資源化等を推進するとともに、自然環境に配慮しつつ、道路・交通・情報・住宅・生活排水処理などの生活基盤が整備された環境と共生するまちを目指します。

また、防災、防犯、消防体制を整備するとともに、冬期間においても心配がない住民生活が送れる安全安心に暮らせるまちを目指します。

基本目標 5：持続可能なまちづくり

(協働・行財政運営施策)

住民をはじめ、多様な主体がそれぞれの役割を果たし、協働によるまちづくりを推進するとともに、健全な財政運営によって「まちの体力」ともいえる財政基盤を強化し、住民意向に応えられる行政サービスの維持を図ります。

また、幅広い分野で国内外における地域間連携を図り、ともに地域の発展を促し、持続可能なまちを目指します。

2 施策体系

まちづくりの基本理念

「大地の恵と海の幸 心ひとつに希望のまち」

(将来像)

『豊かな自然とともに創る、暮らす、
未来へつなぐ自立と協働のまち
中泊』

基本目標 1：活力・賑わいを創出するまちづくり

(産業振興施策)

- 1-1 大地の恵を供給する農林業のまち (農林業)
- 1-2 海の幸を守り育てる漁業のまち (水産業)
- 1-3 地域の魅力を活かし交流を深めるまち (観光業)
- 1-4 地域の賑わいと暮らしを支える商工業のまち (商工業)
- 1-5 新たな地域の活力を生み出すまち (雇用対策・新産業の育成)

基本目標 2：健康でともに支え合うまちづくり

(保健・医療・福祉施策)

- 2-1 住民一人ひとりが健やかに暮らせるまち (健康づくり・保健活動)
- 2-2 安心して子どもを生み、健やかに育つまち (子育て支援)
- 2-3 生きがいと尊厳を持って高齢期を過ごせるまち (高齢福祉)
- 2-4 地域の支えで自立をめざせるまち (障がい福祉)
- 2-5 地域でともに支え合うまち (地域福祉)
- 2-6 安心して医療を受けられるまち (医療)

基本目標 3：豊かな心と郷土を育むまちづくり

(教育・文化施策)

- 3-1 子どもたちがいきいきと学び育つまち (学校教育・青少年健全育成)
- 3-2 学びを通じて心の豊かさや交流を生むまち (社会教育・家庭教育)
- 3-3 スポーツを通じて人や地域つながりをつくるまち (社会体育)
- 3-4 郷土の歴史文化を継承するまち (地域文化・芸術活動)

基本目標 4：環境と共生する安全安心なまちづくり

(生活環境施策)

- 4-1 秩序ある町土・景観を保全するまち (土地利用・景観)
- 4-2 快適で住みよい環境へ定住するまち (住環境・定住促進)
- 4-3 道路・通信網で地域や暮らしの利便をつなぐまち (道路・公共交通・情報通信)
- 4-4 安全な水の供給と水資源を保全するまち (上下水道)
- 4-5 環境にやさしく資源を循環するまち (循環型社会・環境保全)
- 4-6 いざというときに備えるまち (消防・救急体制・防災)
- 4-7 暮らしと地域の安全を守るまち (防犯・交通安全)

基本目標 5：持続可能なまちづくり

(協働・行財政運営施策)

- 5-1 とともに支え合い、行動するまち (地域コミュニティ・住民協働)
- 5-2 男女がともに活躍するまち (男女共同参画)
- 5-3 健全な行財政運営を推進するまち (行財政運営)
- 5-4 とともに地域の発展を推進するまち (広域行政・地域間連携)

3 重点プロジェクトの取り組み

本町が抱える人口減少及び少子高齢化の進行、地域経済の停滞といった課題に対し、地域資源を強化・活用することにより、まちの魅力や活力、付加価値を一層高め、移住・定住の促進、地域の活性化、暮らしの安全・安心といった「まち」「ひと」「しごと」の創生につなげていくために、施策分野を横断した取り組みとして次の重点プロジェクトを推進します。

図表 重点プロジェクト



重点プロジェクト①（ソフト事業）

中泊ブランド推進地域活性化プロジェクト

～住民みんなですすめる新たなまちづくり～

【背景】

全国各地で見受けられる人口減少・少子高齢化問題、当町でも「中泊町人口ビジョン」を平成28年3月に策定しました。その取り組みとして、中学生までの医療費無料化、公営住宅の建設、水田の大区画化事業、県及び周辺自治体と連携した移住政策等を行っています。

人口減少を抑制するための更なる取り組みとして、地域住民全体で魅力あるまちづくりを推し進め、地域活性化を目指します。

【課題】

国立社会保障人口問題研究所の推計では、中泊町の人口は23年後の2040年には今より約5,700人が減少し、約6,190人との推測値が公表となりました。そこで、当町では人口減少を抑制するための取り組みをすすめ、「2040年には約7,100人」、「2060年には約5,200人」の当町の人口を目指すことを「中泊町人口ビジョン」において平成28年3月に策定し取り組みを行っていますが、当町周辺の地域でも同様の問題を抱えていて、人口減少・少子高齢化対策は喫緊の課題となっています。

■事業年度（予定） 平成29年度～平成31年度

【取り組み概要】

人口減少・少子高齢化が急速に進行する中、地域全体で課題可決に取り組む必要があります。そこで、町では新たに次のことを始めます。

■中泊町認定ブランド推進協議会

各種団体と連携する「中泊町認定ブランド推進協議会」を立ち上げます。その協議会では、「特産品ブランド戦略」と「観光ブランド戦略」に分けて、地域資源の掘り起こし、磨き上げを進めます。その計画方針に基づき取り組みを推し進めることにより、「農林水産業」と「観光産業」を起こし、農商工連携、地消地産（地域に望まれる商品を生み出す）、担い手育成、交流人口の拡大等を図ることで、地域外のひと・資金の呼び込み、移住・定住にも繋がり、地域全体で活性化を図っていきます。

■お出かけ“まちなかミーティング”

老人クラブ、地域づくり団体、小・中・高等学校などの各会合及び総合学習時間に町長がお出かけし、町の今後の取り組みを説明・話し合いを行い、地域全体で魅力ある地域づくりを推し進め、住民が輝くような地域づくりを図っていきます。

重点プロジェクト②（ソフト事業）

平成29年度 地方創生推進交付金事業

中泊メバルプロジェクト

～津軽海峡メバルによる水産観光の創生～

【取り組みの背景】

青森県は、高級魚ウスメバルの水揚げが日本一です。県内では、中泊町がこのウスメバルの水揚げが1位となっています。そこで、このウスメバルを活用した新・おもてなしご当地グルメ「中泊メバルの刺身と煮付け膳（愛称：中泊メバル膳）」を平成27年7月3日に始めて以来、4万食を売り上げるヒット商品となりました。わざわざ当町に来ないと食べることができない“おもてなしご当地グルメ”として誕生してから、当町には観光客が増えたことに加え、このウスメバルいわゆる“津軽海峡メバル”への注目度が高まり、魚価がアップして漁師の所得向上へつながることができ、メバル効果で当町の認知度が広がりつつあります。

当町を、さらに全国へ発信して、リピーターを含む多くの観光客を呼び込み「中泊メバル膳」を食していただき、県外へは新鮮な“津軽海峡メバル”を出荷し、おいしさをたくさんの方に堪能していただきたいと考えています。この「水産と観光」を組み合わせた事業を展開する当町は「メバル推し」で地域の活性化を目指すものです。

【実現に向けた課題】

当町の水産業は、平成28年度のイカの不漁にあったように近年では魚介類の水揚げの減少に加え、漁師の高齢化、若手の漁師離れなどによる担い手不足から深刻な影響を受けています。しかしながら、メバル漁は、気候等による水揚げ量の増減があるものの、「中泊メバル膳」のヒット等により単価の上昇を保っていることから、漁師の所得の向上につながっています。「中泊メバル膳」のヒットにより、観光入れ込み客数の増加による提供店舗の収入増、雇用の増加、関連消費の拡大、そしてウスメバルの単価が向上し、ウスメバルの経済効果が見受けられるようになりました。

その一方で、このウスメバルの経済効果を持続・発展させていくには、新たな仕掛けにより、リピーターや新規のお客様を獲得する必要があります。

■事業年度（予定） 平成29年度～平成31年度

【取り組み概要】

ウスメバルを中心とした新事業を加えながら経済効果を高めていきます。

■中泊メバル膳の磨き上げ（メバ膳2）

「中泊メバル膳」はスタートから3年目を迎え、好評を博していますが、さらなる進化が求められることから新たなメニュー開発が必要と求められます。そこで平成30年7月のデビュー4周年に向けてリニューアルした「中泊メバル膳」を発表するスケジュールで研究を進めます。リニューアルへ向けては、鮮度維持、おいしさ研究のため、急速冷凍システムを導入して、「中泊メバル膳」の質向上に活用します。急速冷凍システムは海の幸の他にも、山菜等を含めた農産物への応用が可能となることから、講習会を開きながら活用の幅を広げていきます。

■メバル料理グランプリ（メバグラ）

このイベントは、「中泊メバル膳」提供の5店舗が“新メバルグルメ”で競い合います。お客様からの人気投票により優勝した“新メバルグルメ”のメニューは、各店舗で限定メニューとして販売し、お客様が選んだ“新メバルグルメ”のメニューとして、メバル効果を広げていきます。

■姉妹品販売促進と「メバセン！」開発

ご家庭でも“ウスメバル”を楽しんでいただくため、「中泊メバル膳」デビュー2周年記念で姉妹品として開発したメバル煮付けのレトルト商品「中泊メバルでチン！（メバチン！）」販売拡大とその活用レシピメニューの研究を行います。

また、新たに「メバセン！」として、ウスメバルを活用したせんべいのお土産品を開発も行います。その他、これに続く高級缶詰「メバ缶！」や町農産物加工施設を活用したオリジナル商品づくりを進め、関連消費拡大の取り組みをすすめます。

■「中泊はメバ焼き！（メバ焼き！）」、「中泊はメバねぶ」等でPR

青森県立中里高校SBP（ソーシャルビジネスプロジェクト）において、地元高校生がウスメバルをモデルとして、たい焼き「中泊はメバ焼き！」を開発しました。「中泊メバル膳」の姉妹品として位置付けるとともに「メバ焼き！」の販促活動による町のPRと地域の宝である高校生の人材育成に努めます。さらには、その効果を高めるため、中泊の金魚ねぶたは「メバねぶ」を製作し、町内への展示や全国高校生SBP交流フェアへの出店を通じた全国PRに努めます。

■トップセールス「メバルは生がいいね！（メバ生）」

首都圏、関西圏などで開催する“青森県・当町のトップセールス”でウスメバルの「生」のおいしさを実感してもらおう「刺身で食べる文化の普及＝新鮮」をPRし、“津軽海峡メバル”への認知度と販路の拡大を図ります。

■メバル漁師らの育成（メバリスト育成）

メバル漁師・漁協等の若手が中心となって構成するまちづくり団体「中泊活ハマクラブ」の活動を支援します。団体が主催する“中泊活ハマまつり”や漁港で行う“津軽海峡メバル網外し体験”等のお客様が気軽に触れ合えるメニューを充実させ、漁師

の魅力・魚の魅力をPRします。また、“青森県・当町のトップセールス”に参加し、津軽海峡メバル等の魅力をPRします。これまでは、獲ったら終わりだったスタイルから、消費者に届くまで携わることで、次代を担う彼らの意識改革につなげていきます。

■メバルっ子の育成

当町が「メバル推し」で事業を進める中、一緒にPRを行ってくれる子どもたちが、ウスメバルを食べたことがないという子が多数を占めています。そこで、ウスメバルについて、レクチャーし、さらに学校給食へメバルを提供し、そのおいしさを実感した後、自分たちの修学旅行等で“津軽海峡メバル”の魅力をPRしてもらい取り組みもすすめます。

重点プロジェクト①（ハード事業）

総合福祉健康センター建設事業

～PFI（民間資金等活用事業）による建設・維持管理・運営～

【背景】

現在の老人福祉センターは老朽化のため、高齢者をはじめ地域の憩いの場となっている温泉も枯渇に近い状態となっています。そこで、新たに温泉施設、町特産品の販売スペース、食堂、金融機関等が一体となった高齢者にやさしい複合ビルを整備し、地域の活性化と健康増進のための施設の整備が急務となっています。

【課題】

施設整備費及び運営費が高額となることが予想されることから、当町の人口減少問題、財政状況を鑑み、PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ：民間資金等活用事業）事業による公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図る必要があります。

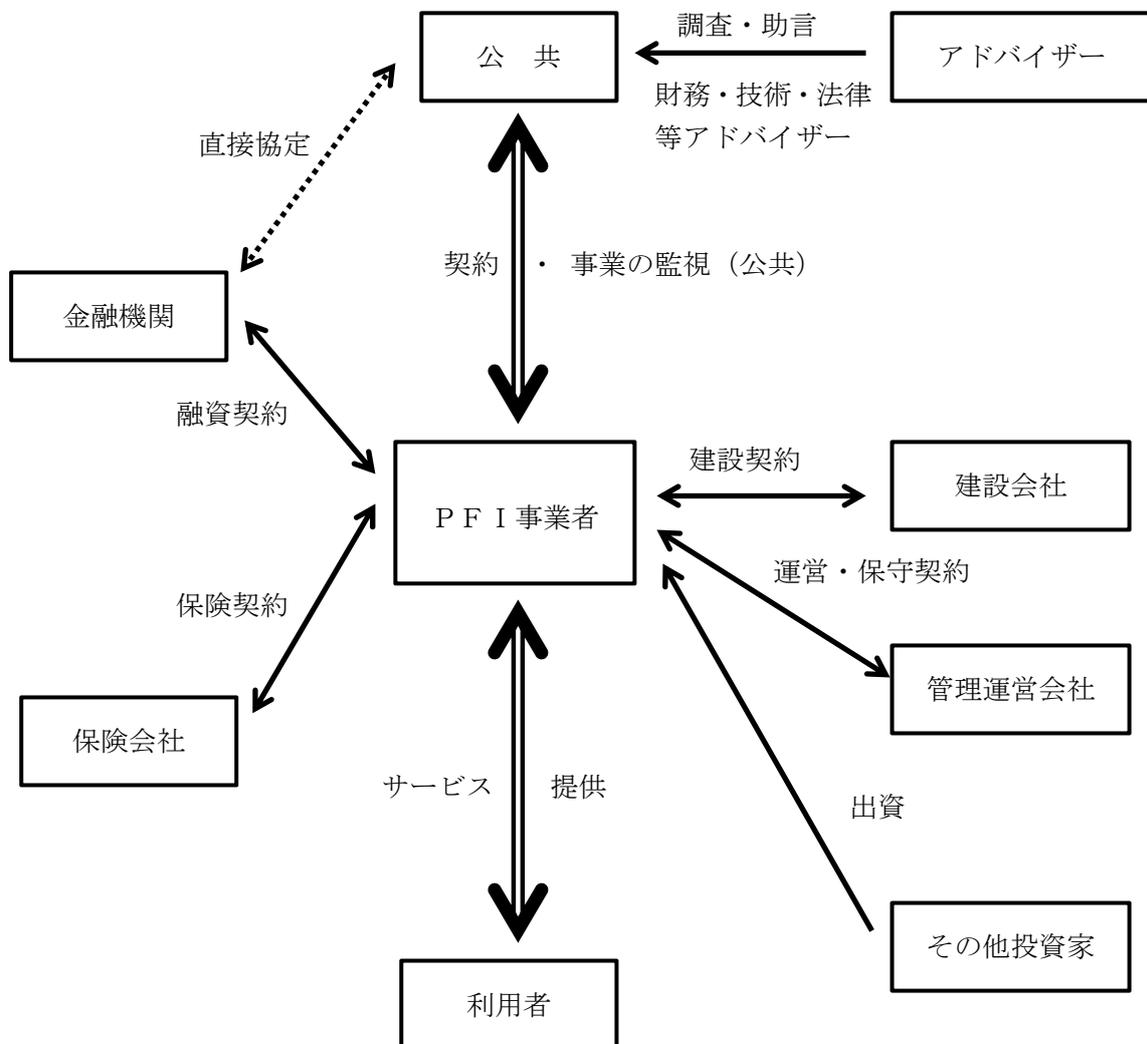
■事業年度（予定） 平成30年度～平成31年度（平成32年度以降も継続）

【PFIの仕組み（一般的な構成）】

PFIにより提供するのは公共サービス、事業の実施を決定し、PFI手法を進めるため「実施方針」等を策定して事業者を選定するのは「行政機関」です。

行政との契約に基づき実際にPFI事業を行うのは「PFI事業者」で、そのPFI事業者に融資を行う「金融機関」や、行政機関に技術や法務面の助言等を行う「アドバイザー」のほか、事業会社のリスクをカバーする「保険会社」などが参画する形態が一般的です。

< PFI事業の仕組み（一般的な構成） >



【資金調達比較】

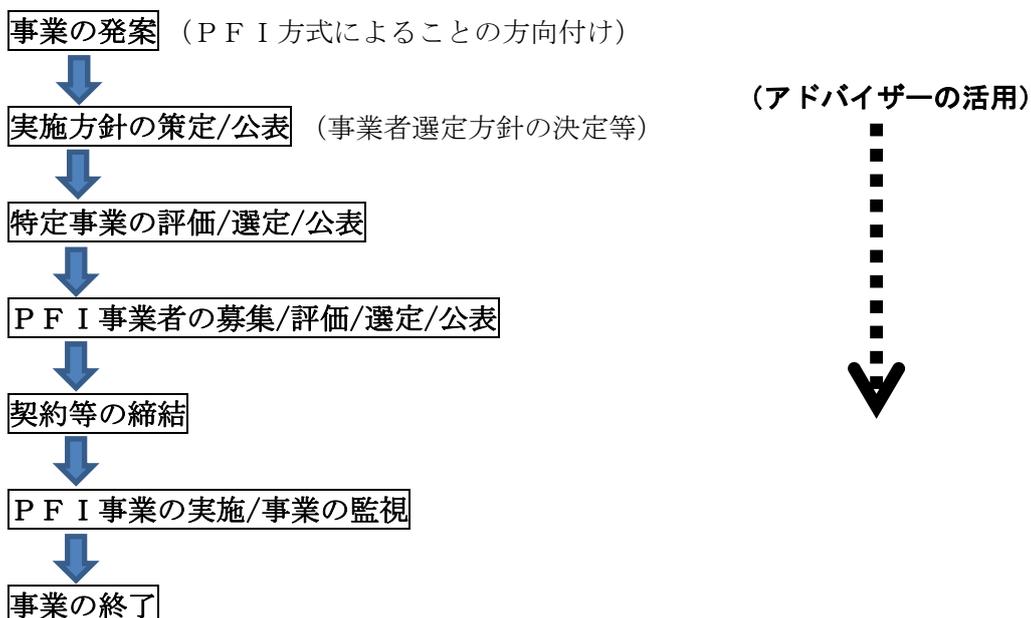
施設の整備において想定される資金調達手法は次のとおりに整理できます。

	公共による施設整備 (従来型公共事業)	民間による施設整備 (混合型PFI方式)
資金調達主体	公共	公共／民間
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・公共が資金調達をするため、施設運営事業者に金利負担等は発生しない ・公共の信用力により、低い金利での資金調達が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間が施設整備費を調達し、施設を整備する ・公共は施設整備費相当額を割賦にて民間に支払うことが可能
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・当該施設の整備に伴う公益性や波及効果等が十分に見込めない場合、公共が資金拠出をするのは困難となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共が資金を調達するよりも民間資金で調達する方が金利が高くなる

【PFI事業の一般的な流れ】

PFI事業では、事業の発案に係る検討結果に基づく「実施方針の策定」、PFIを適用して実施する事業であることを決定する「特定事業の選定」、「PFI事業者の募集及び選定」、「契約の締結」などの手続きを、アドバイザー支援制度等を活用しながら進め、その後、PFI事業者により事業が実施され、町はそれを監視していきます。

PFI導入により、性能発注や設計、建設、維持管理、運営等を一括して発注することができることから、民間の創意工夫などの取り組みによる公共事業のコスト削減、公共施設空間の商業利用等の余剰資産の有効活用、民間の事業機会の創出による経済の活性化の効果が期待できます。



重点プロジェクト② (ハード事業)

中里地区排水路整備事業

【背景】

中里地区の宮野沢川と中里川に挟まれた地域において、平成26年8月5日午後3時から6日午前中にかけて総雨量229mmの降雨があり、6日未明から宮野沢川が氾濫しました。洪水流出により、中泊町大字宮野沢字蛸澤地区一帯の水田で川岸崩落や、国道339号の新深郷田橋上流区間では洪水流の堤防越水があり、新深郷田橋下流約500mでは右岸の堤防が約20m決壊し河川洪水が水田地帯へ流れ込み、水田一帯はもとより豪雨による冠水状態をさらに助長させるという事態になりました。また、同時に中泊町大字中里字紅葉坂の町道374号線沿いの水路も溢れ、津軽鉄道をくぐる町道404号紅葉坂地下道も冠水によって通行不可能となり、他にも多くの側溝・排水路で溢水状況になったことから、排水路の整備が急務となっています。

【課題】

中里地区の道路側溝・排水路の流末が宮野沢川及び中里川になっているが、大雨の際には排水先の河川の水位が上昇・堤防越水の危機に陥ることから、通常の河川へのポンプ排出は困難となるため、流域全域の対策を講じる必要があります。

■事業年度 (予定) 平成30年度～平成31年度 (平成32年度以降も継続)

【内容】

この対策事業では、調整池等の新たに整備する施設と「中泊町総合運動公園」施設としての有効活用も検討しながら、測量・調査、予備設計、施設管理者協議、工法決定をすすめます。

重点プロジェクト③ (ハード事業)

中泊町総合運動公園改修事業

【背景】

平成元年に建設した「中泊町総合運動公園」が老朽化のため、大会等の実施に支障をきたすようになってきました。現在では陸上競技以外の公式大会の開催が困難となっている状況から、競技施設等の整備が急務となっています。

【課題】

施設整備費及び運営費が高額となることが予想されることから、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図る必要があります。

■事業年度（予定）平成30年度～平成31年度（平成32年度以降も継続）

【改修事業内容】

■野球場改修工事

建設から28年経過して、野球場全体が老朽化しています。以前は北東北大学野球（二部）を開催したこともありますが、ルール改正により安全を期した外野フェンス（ラバーウォール）設置球場が開催条件となったことから、近年ではその大会等が開催されていないことから、改修するものです。また、スコアボードも支障をきたしていることから、表示一体型に改修するものです。

■運動公園器具庫改修工事

建設から28年経過しているため、屋根全体の腐食がすすみ葺き替え工事が必要です。

■テニスコート改修工事

建設から28年経過しているため、フェンスの基礎部分が腐食により破損しているため、フェンス全面改修とテニスコートのクラック補修工事が必要です。

■陸上競技場改修工事

陸上競技場は平成12年に全天候型陸上競技場に整備を行ってから16年が経過し、陸上トラックのウレタン舗装の改修工事が必要となっています。西北五地域では当町のみ施設であり、平成31年度の第4種公認コース認定の更新を受けるためにも必要となっています。

基本目標 1 活力・賑わいを創出するまちづくり

(産業振興施策)

1-1 大地の恵を供給する農林業のまち

(農林業)

1 基本方針

- 基幹産業の振興・土地の保全などの観点から、意欲と能力のある担い手の育成・確保、効率的・安定的な農業経営、農業土地基盤の整備などを進め、農業の振興を図ります。
- 森林の持つ公益的機能を維持するため、担い手の安定確保や森林の適正な管理を推進します。

2 施策での取り組み

1-1-1：農業基盤の整備

- 集落営農組織や共同作業体制の確立、水利施設・ほ場の整備や適正な維持管理と機能拡充、農地の集団化、農道の整備など、生産基盤の充実を図ります。
- 町内の遊休農地等を活用した農業体験やグリーン・ツーリズムを推進します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 県営十三湖地区経営体育成 基盤整備事業	十三湖地区の水田は排水不良と未整備地が多いことから、生産性の向上を図る目的で水田の大区画化等の整備を進める費用の一部を負担	128,000	農政課 土地改良係
【継続事業】 県営基幹水利施設維持管理 事業	国営土地改良事業により造成された農業用施設（ダム、頭首工、ポンプ場、制水門等）の維持管理を県が行うため、その費用の一部を負担	16,942	農政課 土地改良係
【継続事業】 基幹水利施設維持管理事業	土地改良区が管理する施設において、都市化・混住化の進展等による現状を鑑み、その施設の維持管理費用を一部負担	3,691	農政課 土地改良係
【継続事業】 多面的機能支払事業	地域住民と農業者による活動組織が地域内の用排水路・農道等の農業用施設について、通水機能の維持や病虫害防止のための除草等を行い農地と水を守る活動費	136,447	農政課 土地改良係

【継続事業】 防雪柵張出収納事業	冬期間の交通の安全と農業の活性化を図るため、豊島地区の農道交差点から今泉地区の国道交差点までの農道の防雪柵の張出収納工事を実施する	17,135	農政課 土地改良係
【新規事業】 県営五所川原第二地区農地整備事業	中里広域農道（通称：こめ米ロード）にある橋梁前後の防雪柵整備工事と農道の路面改良工事の費用を一部負担	8,580	農政課 土地改良係
【継続事業】 中山間地域等直接支払推進事業	中山間地域の農業・農村が持つ水源かん養、洪水の防止、下流域の地域を守ることを目的として、中山間地域の農地の営農作業行為に対して交付する	9,951	農政課 開発係
【継続事業】 グリーン・ツーリズム事業	中泊町グリーン・ツーリズムの会「かけはし」が行っている「畑の学校」の運営支援として、その費用を一部負担	80	農政課 農業振興係
【継続事業】 体験ほ場管理運営事業	農業体験を通して農業への理解を深めることを目的として、地域の小学生が農業体験できる施設の運営費	236	農政課 開発係
【継続事業】 生きがい農園管理運営	農業への理解を深めることを目的として、小泊地域にある農園の貸出を行っている施設の運営費	40	農政課 林務係

1-1-2：農業経営の安定化

- 関係機関・団体との連携のもと、効率的な生産技術の導入や機械・施設の整備及び共同利用、農産品の流通販売等を支援し、各作目の生産性の向上や高品質化を促進し、農業所得の向上を図ります。
- TPP 発効に向けて、農家経営の安定化に資する取り組みを推進します。

「中泊町畜産クラスター計画」を作成・提出し、国の認定後に事業を実施します。その結果、飼養頭数の増頭による生産額の増加、自給飼料の拡大・自給率の向上による飼料コストの低減が見込まれ、農家所得の向上による経営安定化を目指します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【継続事業】 経営体育成支援事業	農業の体質強化を図るため、地域の担い手に対し、農業用機械等の導入を支援するための補助金	30,000	農政課 開発係

1-1-3 : 特色ある農業の推進

- 米中心の農業からの転換を推進し、花き、野菜に至るまで消費者のニーズにあった特色ある作目・作型等の調査研究を進めます。
- 冬の農業の活性化と併せた高付加価値型農業の確立に取り組みます。
- 稲わら焼却などの問題を解決するべく、廃棄物の有効利用、適正な処理に資する対策を行います。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【新規事業】 農家所得アップ実証実験事 業	農家所得の増大を目的に、平成 30 年度より、つがるにしきた農業 協同組合と若手農家が連携し、約 40 アールのほ場に“ブロッコリ ー”を作付けし、生産性と生産コ ストの実証実験を行い、農家所得 向上の取組みを町独自事業として でスタートする	60	農政課 農業振興係
【新規事業】 新たな町特産物の育成	農家所得の増大を目的に、町所 有の体験ほ場の一部を利用して、 “白いトウモロコシ”を作付けし、 消費者アンケート調査、生産性と 生産コストについて調査し、新た な町特産物としての検証を行なう	36	農政課 農業振興係
【継続事業】 青森県産地パワーアップ事 業	大豆の高品質安定生産に必要な 高性能農業機械の導入と作業受委 託の拡大、農地中間管理事業を活 用した農地の集積と団地化により 販売金額の増加に取り組んでいる 団体に補助する	3,875	農政課 指導係
【継続事業】 環境保全型農業直接支払交 付金	農業生産全体の在り方を環境保 全に重視したものに転換していく ため、より環境保全に効果の高い 営農活動に取り組んでいる団体へ の面積に応じて交付する	9,935	農政課 指導係
【継続事業】 稲わら有効利用推進事業	貴重な有機質資源である稲わら を焼却せず、土づくりや野菜・畑 作等へ利用を促すため、水田への 稲わらのすき込みや稲わらロール ペーラでの収集費用の一部を負担	5,320	農政課 指導係

1-1-4 : 加工・流通の体制の確保

- 道の駅等のふれあい交流施設を活かした地産地消を推進するほか、6次産業化を目指して整備した加工販売施設の一層の活用・整備を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 農産物加工販売施設管理事業	農業者の所得向上・地域活性化を図ることを目的に、中泊町農産物加工販売施設「ピュア」・ブルーベリー農園・農村活性化施設を一括して指定管理を委託する	17,096	農政課 指導係

1-1-5：森林の整備

- 計画的な育林や林道整備、間伐・植林等、振興基盤の整備や森林の適正管理を図り、水源かん養、大気浄化、土砂の流出防止等、森林が持つ公益的機能の保持に努めます。
- 観光・交流の場としての活用や、木炭などの特産林産物を活用した特産品の開発等に積極的に取り組み、林業経営基盤の強化を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 森林GISシステム更新・ 林地台帳作成業務	森林の整備事業の一環として、森林情報の一元的な管理を目的として森林GISシステム更新と林地台帳作成業務委託	4,850	農政課 林務係
【継続事業】 林道草刈業務	森林の整備事業の一環として、林道の適正な管理のため、草刈業務を委託	602	農政課 林務係

1-1-6：農林業者の後継者、人材の育成

- JA や西北地域県民局地域農林水産部と連携して、地域のリーダーとなる認定農業者等の担い手、新規就農者の確保・育成に努めます。
- 経営指導の強化や農地の集積の促進等により、集落営農の組織化及び法人化の促進、組織体及び担い手の育成等を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 農業次世代人材投資事業	農業経営の安定化、若者の就業意欲の喚起と定着を目的に、就農前後の次世代就農者への補助金	7,125	農政課 開発
【継続事業】 農地中間管理機構事業	農業の競争力を高め持続可能な力強い農業を目的として、地域の中心となる経営体への農地集積に必要な取り組み等を支援する	12,036	農政課 開発係

1-2 海の幸を守り育てる漁業のまち

(水産業)

1 基本方針

- 将来にわたり安定的な生産を確保するために、漁場等の環境の維持とともに、守り育てる漁業への転換を図り、後継者の育成を含め、魅力ある漁業の確立に取り組みます。
- 水産物の衛生管理体制の充実、品質向上、漁獲高の確保に努めるとともに、新たな販路拡大、新商品開発など、漁業者の経営安定につながる取り組みを推進します。

2 施策での取り組み

1-2-1：漁港施設・漁業環境の整備

- 漁港の整備を計画的に進めるとともに、魚礁設置など漁場環境の復元・海の森づくりに努めます。
- 廃船（FRP）、廃油処理施設の整備に努め、環境に配慮した漁業を推進します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【継続事業】 海岸漂着物地域対策推進事業	船舶の安全航行対策及び海岸の良好な景観を取り戻すため、海岸漂着物の回収業務委託	10,000	水産商工観光課 水産係
【継続事業】 磯焼対策推進事業	磯焼化が進み、海藻類が減少傾向にあることから、海岸に磯焼解消用消毒液等を投入するための委託	1,080	水産商工観光課 水産係

1-2-2：漁業経営の安定化

- 燃料費や漁業資材の高騰により漁業経営が苦しいことから、新たな販路開拓や新商品開発などを推進し、経営の安定化を図ります。

1-2-3：鮮度・品質の向上

- 鮮度・品質の向上につながるよう、活魚及び活魚の出荷体制の充実、水産加工品の研究・開発のほか、新しい技術による水産鮮度保持施設の整備等に努め、漁業経営の近代化を進めます。

1-2-4 : 加工・流通の体制の確保

- 地元水産物の PR を強化するとともに、ブランド化を推進するほか、地元水産物の積極的な利用促進、地域の活性化を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1 年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【継続事業】 新・OMOTENASHI ご当地グルメ開発事業	地元水産物の PR を強化するとともに、ブランド化を推進するための新商品開発及び P R 費	2,092	水産商工観光課 水産係

1-2-5 : 漁業者の後継者、人材の育成

- 未来を担う漁業者や担い手団体の育成支援に努め、地域活性化を図ります。
- 漁協や水産事務所と連携して、漁家経営指導者などの人材育成や、高齢化による漁業後継者問題を解消するため、新規就業者の確保・育成に努めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1 年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【継続事業】 基幹集落センター管理事業	住民の産業技術研修等を目的とした施設の管理料	1,161	水産商工観光課 水産係
【継続事業】 すくすくこどもり館管理事業	漁業者の健康増進等を目的とした施設の管理料	4,978	水産商工観光課 水産係
【継続事業】 すくすくしたまえ館管理事業	漁業者の健康増進等を目的とした施設の管理料	4,003	水産商工観光課 水産係

1-2-6 : 守り育てる漁業への転換

- 水産資源の減少が懸念される中で、水産資源を一方向的に獲るだけでなく、将来に向けて、守り、育てるという循環型漁業への転換を図ります。
- アワビの稚貝、津軽海峡メバルの稚魚の放流及び水産物の陸上養殖など、増養殖事業の拡充を図るための取り組みとして、「マツカワガレイ＝王鰈（オオチョウ）」の試験養殖も始めます。幻のカレイと言われるその身は、肉厚でほどよく脂がのり甘みがある高級魚として人気を博しています。

1-3 地域の魅力を活かし、交流を深めるまち

(観光業)

1 基本方針

- 自然環境を活かしたグリーン・ツーリズムなど滞在型観光を推進するほか、メバルやビーチサッカーといった町特有の観光資源に磨きをかけた観光振興を推進します。
- 北海道新幹線奥津軽いまべつ駅開業を契機に、観光メニューや交流資源の発掘・活用を進めることで、地域の魅力向上と交流人口の増加に向けたPRや本町の認知度向上に取り組めます。

2 施策での取り組み

1-3-1：観光コンセプトと整備方針の再構築

- 「本町へどのような人が訪れ、どのような魅力や楽しみを得てもらうか」といった本町の全体的な観光コンセプトと整備方針を再構築します。
そこで、平成30年度より、「ふれあいセンター」や「道の駅こどもり」等の町誘客施設でのアンケート調査を実施します。
- 上記方針に基づき各観光拠点施設の充実や海と森と川の観光ネットワーク化整備の推進、冬期観光を含めた津軽半島の広域観光ルートの定着化等を進め、東北・道南・首都圏からの観光客を中心に大幅な入り込み増加を目指します。

1-3-2：観光・交流資源の磨き上げ・活用

- 町内に眠る観光資源をくまなく発掘し、また既存観光資源のブラッシュアップを一層進め、中泊町の認知・ブランド化に取り組めます。
- 本町を訪れた方々が地域の歴史等に触れ、町に対する魅力や関心を深めるきっかけとなるよう、地域の歴史等をテーマとしたイベント等を開催し、内容の充実に努めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成29～31年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【新規事業】 中泊町認定ブランドPR事業	中泊町の認知・ブランド化に向け、各種団体と県外でのPR、小中学生は修学旅行先でPR展開	1,987	水産商工観光課 観光係
【継続事業】 小説「津軽」の像記念館施設管理事業	本町を訪れた方々が地域の歴史等に触れ、町に対する魅力や関心を深めることを目的とした施設の管理費	2,717	教育委員会 小泊事務所 社教係

【継続事業】 第12回イガ米～きてけ フェア補助金	中泊町の認知・ブランド化に 向け、毎年2月にアスパムで開 催するPRイベント補助金	491	水産商工観 光課 観光係
【継続事業】 ホテルまつり in なかど まり実行委員会補助金	ホテルの里で開催するまつり の補助金	1,150	環境整備課 土木係
【継続事業】 観光推進事業	観光資源の掘り起こし、磨き 上げ、誘客促進PR活動に係る 補助金	1,887	水産商工観 光課 観光係

1-3-3 : 観光拠点の整備

- 清潔なトイレ、わかりやすい道路標識、見やすい案内板などの観光利便施設整備は、独自性を発揮した整備を図り、老朽化施設等の改修によってイメージ向上に努めます。
- 高齢者や障がい者に配慮したバリアフリーの推進、観光客に対するおもてなしの心向上に努めます。
- 町の代表的な観光資源である権現崎遊歩道の利便性を高めるため、トイレや東屋を整備するなど、一層の活用及び観光客の誘致に努めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成29～31年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 観光施設維持管理事業	観光トイレの維持管理、遊歩 道の草刈等の維持管理費	9,383	水産商工観 光課 観光係
【継続事業】 折腰内交流施設管理事 業（道の駅）	道の駅のトイレ、観光案内施 設、物産品直売所を兼ねた施設 の運営に係る指定管理料	8,407	水産商工観 光課 観光係
【継続事業】 折腰内海水浴場管理事 業	夏場の誘客促進を図るため、 整備した海水浴場の運営費と 指定管理費	7,248	水産商工観 光課 観光係
【継続事業】 折腰内オートキャンプ 場管理事業	夏場の誘客促進を図るため、 整備したオートキャンプ場の 運営費と指定管理費	3,648	水産商工観 光課 観光係
【継続事業】 マリンパーク管理事業	夏場の誘客促進を図るため、 整備した海水浴場の指定管理 料	2,998	水産商工観 光課 水産係
【継続事業】 ライオン岩公園管理事 業	春から秋までの誘客促進を図 るため、下前地区に整備した運 動公園の指定管理料	866	水産商工観 光課 水産係

【継続事業】 やまなみトンネルトイレ維持管理	やまなみトンネル横の駐車帯にあるトイレの維持管理費	516	環境整備課 土木
【継続事業】 津軽中里駅ざわめき空間創出事業	町の玄関口である津軽鉄道中里駅隣接の「駅ナカにぎわい空間」運営費	554	水産商工観光課 観光係

1-3-4：地元産業との連携

- 「ここだけ」「今だけ」を売り出す食の限定ブランドを活かし、体験型観光や食を組み合わせた観光との連携を推進するなど、町内の農林水産業や商工業等、他産業分野と連携による観光振興を進めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【継続事業】 春のヤリイカ味覚まつり補助金	春の竜泊ライン開通と道の駅オープンに合わせて旬のヤリイカをメインとしたイベントの補助	300	水産商工観光課 観光係
【継続事業】 秋のスルメイカ味覚まつり補助金	秋の紅葉シーズンに合わせて道の駅で開催するスルメイカをメインとしたイベントの補助	341	水産商工観光課 観光係

1-3-5：体験型観光・イベント等の充実

- 町内の産業資源を活かし、メバルの網外し体験や農業体験、グリーン・ツーリズム等、体験型観光を推進します。
- ビーチサッカー等、町内のスポーツ環境を活かしたスポーツ大会開催等、イベント等を通じて、多様な世代、人材との交流機会を創出します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【継続事業】 第 15 回竜泊ラインウォーキング	景勝地の竜泊ラインと中泊町の特産品をPRするため眺瞰台駐車場から道の駅こどもりまでウォークを開催	1,007	水産商工観光課 観光係
【継続事業】 第 7 回大沢内ため池ウォーキング	景勝地の大沢内ため池、湧きつぼと中泊町の特産品をPRするためピュアから大沢内ため池までウォークを開催	1,007	水産商工観光課 観光係

1-3-6 : 学生や社会人等の修学旅行・合宿等の招致

- 本町の特長ある地域性やスポーツ施設環境等を活用し、各種大会をはじめ、学生や社会人等の合宿等の招致を行い、まちへの滞在人口増加を目指します。
- 本町の歴史を地域資源として磨き上げ、町内を巡る観光資源として活用し、修学旅行等による交流、地域間交流の推進、交流人口の拡大を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1 年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【継続事業】 ふれあいセンター管理運営費	町への宿泊滞在人口の増加による地域活性化を目的として、ふれあいセンターの管理運営費	10,899	農政課 林務係

1-3-7 : 住民協働による観光振興

- 中高生や若手の声を積極的に拾い上げ、商品開発や PR 事業を通じて、若い世代の郷土に対する愛着を深めるなど、地域の人材として育成、定着を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1 年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【新規事業】 青森県立中里高等学校 S B P 活性化実行委員会補助金	地域の課題をビジネスの手法で解決する地域活性化に取り組む活動補助金	2,740	水産商工観光課 観光係

1-3-8 : 観光分野の人材育成

- 小泊・中里両地域に根ざした地域おこし協力隊を活用するなど、住民や関係団体と協働し、地域資源を磨き上げ、観光客を呼び込むなど、地域資源を活用した地域密着観光に向けた人材育成に取り組みます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1 年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【継続事業】 中泊町おもてなし推進事業	北海道新幹線開業に伴い、中泊町の観光資源の磨き上げ等、おもてなし推進し誘客促進につなげる各種団体の活動費	2,494	水産商工観光課 観光係

1-3-9 : 認知度向上・PR 活動の推進

- 北海道新幹線の開業に向けて、観光受け入れ態勢の確立を図り、体験農漁業やビーチサッカー大会などの観光イベントの強化充実、ご当地グルメの普及宣伝、新イベントの創出など、県内外に対する PR・集客活動の促進等を図ります。
- ポスターやパンフレット、映像等の資源を逐次更新し、新鮮な情報の提供に努めます。
- ふるさと納税寄附金に対する返礼品として、全国各地の寄附者へ町の資源を活かした農水産物等による認知度アップを図り、ブランド化につなげます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 北海道新幹線開業対策事業	北海道新幹線開業に伴い、道南 地域での誘客促進PR、五能線リ ゾート号での誘客促進PR費	2,964	水産商工観 光課 観光係
【継続事業】 第 22 回ビーチサッカー青 森県大会実行委員会補助金	7 月中旬の海の日に折腰内海水 浴場で開催する、全国最大規模の ビーチサッカー大会への補助金	1,500	水産商工観 光課 観光係
【継続事業】 ゆるきゃら制作PR事業	認知度向上、PR活動を推進す るための経費	215	総合戦略課 広報係

1-3-10 : 広域観光体制の充実

- 広域市町村で連携した広域観光ルートづくりや広域的な PR 活動の推進等、広域的な観光振興施策を推進します。
- 北海道新幹線開業による日本海側への新たな観光客の取り込み策として、つがる西北五圏域の自治体と連携して、それぞれの地域特性を活かした圏域内への観光客の誘引を図るとともに、奥津軽いまべつ駅からの2次交通アクセスについて検討を進めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 津軽半島北部エリア促進協 議会負担金	町・県・五所川原市・津軽鉄道 と連携した広域観光ルートづくり や広域的なPR活動の推進等、広域 的な観光振興施策を推進する協議 会の負担金	2,000	水産商工観 光課 観光係
【継続事業】 小中学生等バス料金助成事 業	北海道新幹線奥津軽いまべつ駅⇄ 津軽中里駅間運行バスの利用促進・誘 客促進PRの一環として、修学旅行及 び部活動の大会参加のためバスを活 用する際の助成	100	総合戦略課 企画係
【継続事業】 地域生活交通再生促進事業 (奥津軽いまべつ駅⇄津軽 中里駅間路線バス負担金)	北海道新幹線奥津軽いまべつ駅 ⇄津軽中里駅間を運行する路線バ スの負担(約7.5%)金	1,828	総合戦略課 企画係

1-4 地域の賑わいと暮らしを支える商工業のまち

(商工業)

1 基本方針

- 地域の活性化と賑わいづくりを推進するため、時代の変化に即した地域の事業者・商店を支援し、商店街の活性化を図ります。
- 商工団体等との連携を図り、個々の商店等の経営力強化及び人材・後継者の育成のための支援を行います。
- 地域経済の発展につながるよう、地域特性を踏まえて企業誘致を進めるとともに、中小企業の経営基盤の強化を図ります。

2 施策での取り組み

1-4-1：地域に即した商業の振興

- 既存商店・商店街については、空き店舗の活用や各種イベントの開催への支援、観光と連携した特色ある環境整備の推進、高齢者にやさしい魅力ある商店街づくりの促進支援等の施策を展開します。
- 商工会等と連携を強化し、住民の地域内商店の利用を促進し、町内での消費活動の活性化に努めるとともに、観光分野と連携した商品開発を支援します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 商工業振興対策補助金事業	商工業の総合的な改善発達を図るため、経営改善普及対策、商工業振興対策施策に対する補助	3,062	水産商工観 光課 商工係

1-4-2：過疎地域における買い物等支援サービスの検討

- 外出の難しい高齢者などへの買い物の代行やその他支援等について、地域の住民や事業者と連携して実施に向けた検討を進めます。

1-4-3：工業の振興

- 再生可能エネルギーを地域で導入する企業等の立地を促し、企業誘致助成制度の確立等を図って、環境にやさしい企業の誘致に努めます。
- 新たな商品開発やブランド化への取り組み等を積極的に支援するとともに、ベンチャー企業の設立育成に努めるなど、雇用機会の拡大に向け、商工会等と協議・協調して積極的な取り組みを展開します。

1-5 新たな地域の活力を生み出すまち

(雇用対策・新産業の育成)

1 基本方針

- 町内の各産業の振興を図るとともに、6次産業化及び起業の促進を図り、多様な人材の雇用機会の創出と新たな産業育成に取り組みます。

2 施策での取り組み

1-5-1：多様な就業機会の確保

- 新規学卒者をはじめとする若年層や UIJ ターン希望者の就職を支援する制度の充実を図るとともに、ハローワーク等の関係機関との連携を図り、就業機会を確保します。
- 関係機関・団体と連携し、定年退職後の高齢者、短時間就労を希望する女性求職者や社会参加・自立を目指す障がい者に対して、情報提供等を通じ就職を促進し、多様な雇用の場の確保に努めます。
- 本町の産業振興による地域経済の活性化と雇用環境の改善に向けて、通勤圏となるつがる西北五圏域で広域的な雇用創出協議会等の設置を働きかけ、圏域内の雇用の安定化を目指します。
- 地域に求められる取り組みや生活課題に対応して、住民の持つ知識や技術を職業として発揮できるよう、地域の人材や施設等を活用した新たな就業機会や働きがい、生きがいづくりに努めます。

1-5-2：6次産業の取り組み強化

- 特産物である農水産物の生産振興と加工による新たな特産品づくりによって付加価値を高め、地元産業のさらなる振興を図るため、加工施設の整備とともに、農水産業者と商工業者の連携を推進し、農水産物やその加工品の販路拡大を図り、6次産業の取り組みを強化します。「特産物通販雑誌」、「めいぶつチョイス」等への斡旋、町特産物による「津軽の四季」シリーズのリストアップ、新商品開発・販売等を推進します。
- グリーン・ツーリズムに代表される交流型農業や体験型観光等、産業間の連携と新たな産業の育成を推進します。
- 6次産業化への取り組みを通じて、地域住民の知識や技術を職業として発揮できる就業機会の創出を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 農産物加工品等促進事業	地産地消、地元農家の所得向上を目的に、地元農産物を使用した加工技術習得のための講習会の開催、加工商品の開発をすすめる	600	農政課 指導係
【新規事業】 農家まると農業体験事業	平成 30 年度より、町の魅力発信及び農家の所得向上を目的に、農家民泊・農業・郷土料理作り体験園を中泊町グリーン・ツーリズムの会「かけはし」等と連携して実施をすすめる	30	農政課 農業振興係

1-5-3 : 金融機関と連携した総合支援

- 事業活動に必要な資金（運転資金、設備資金）の調達を図る事業者で一定の要件を満たしている者に対し、信用保証料の補助を行うなど、事業者の経済的な負担の軽減を図ります。
- 金融機関と連携し、各事業者が融資を利用しやすい環境をつくとともに、起業へ向けた支援を行います。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 中小企業支援事業	中小企業者の創意ある向上発展を図り、地域経済の活性化を目的として、創業支援の斡旋、事業活動応援資金として融資保証料の一部を補助する	1,160	水産商工観 光課 商工係

1-5-4 : 地域発の*イノベーションによる新産業の創出

- 成功事例の紹介などセミナー開催、先進地視察支援を通じて、町内における新産業の創出や新技術、新事業につながる取り組みを支援します。
- 町内の各産業分野において、今後の成長が見込まれる取り組みを中心に、新産業の創出や新技術、新事業の開発促進・育成を推進します。

*イノベーション：

経済活動において既存のモデルから飛躍し、新規モデルへと移行すること。日本語ではよく「技術革新」の同義語として用いられるが、本来は新しい技術を開発するだけでなく、従来のモノ、仕組み、組織などを改革して社会的に意義のある新たな価値を創造し、社会に大きな変化をもたらす活動全般を指す極めて広義な概念。

1-5-5 : 販路拡大による研究等

- 地元農水産物を使用した加工食品の市場調査・試食調査・値段設定・採算ベースの設定といったマーケティング等の調査を実施するとともに、地元農水産物の外部販売に対応する組織づくりをはじめ、生産者、取扱事業者と連携したネットワーク構築について検討を行います。

また、首都圏地域との多様な地域間交流を促進し、農水産物販路の拡大を図ります。

1-5-6 : 外部人材の活用

- 農水産物の付加価値の向上に向けた講習会や技術指導への講師の起用等、外部人材を活用し、実践的かつ専門的な知識・技術・技能を身につけた中核的な役割を果たす人材の確保を図ります。

1-5-7 : 起業の促進

- 女性や高齢者の就業者増加など、経済社会の変化に伴う介護サービス、子育て支援サービスなどの生活関連サービスをはじめ、新たな価値やサービスを創造するための起業を支援します。

1-5-8 : 企業誘致の推進

- 関係機関や近隣市町村と連携を図りながら、企業誘致に関する情報収集に努めるとともに、本町の産業構造等、地域の活性化につながる企業誘致に取り組み、多様な就業の場の創出に努めます。

第2章 健康でともに支え合うまちづくり

(保健・医療・福祉施策)

2-1 住民一人ひとりが健やかに暮らせるまち

(健康づくり・保健活動)

1 基本方針

- 健康管理システムの活用、地区の保健協力員と連携を図りながら、住民一人ひとりの健康課題を把握するとともに、住民が主体的に健康づくりに取り組むことのできる予防を重視した健康づくりを進めます。
- 疾病の予防や早期発見に向けて、各種健診や健康相談体制の充実を図り、健康で生きがいを持って暮らせる体制づくりに努めます。

2 施策での取り組み

2-1-1：生活習慣病予防の充実

- 子どもから高齢者まで、心身の健康に対する正しい知識の普及や健康意識の高揚を図り、世代や個人の状態にあった自主的な健康づくりを推進します。
- 食生活改善や運動習慣等、健康的な生活習慣の定着等による一次予防に重点を置いた施策を推進し、生活習慣病予防を推進します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成29～31年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 健康づくり推進協議会設置事業	町民全てが健康な生活を送れることを目標に総合的な健康づくり推進する協議会運営費	59	町民課 保健指導係
【継続事業】 保健事業	住民の健康維持・増進につながるよう、生活習慣病予防などの集団健康教室・健診等を実施	22,678	町民課 保健指導係

2-1-2：各種健診の受診率向上と保健指導の充実

- 健診未受診者の解消を図るため、健診体制及び保健サービスの充実を図るほか、健康管理システムの活用など、多くの住民が受診しやすい環境づくりに努めます。

- 受診者の健康維持・増進につながるよう、特定健診・特定保健指導の受診を働きかけます。健康教育・相談などの保健指導の充実を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 がん検診推進事業	がんの早期発見及び正しい健康意識の普及・啓発のため、がん検診の委託料	1,281	町民課 保健指導係

2-1-3 : こころの健康づくりの推進

- 自殺やうつ、社会的ひきこもりを減らすため、こころの健康に関する普及啓発や相談を行います。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 地域自殺対策強化事業	命の大切さを訴える講座の開催、町民が主体となって自殺対策に取り組めるよう支援	403	町民課 保健指導係

2-1-4 : 食育の推進

- 関係団体と連携し正しい食生活を身につけるための情報提供を様々な場面で行うとともに、安全・安心な農産物の生産や地産地消に取り組みます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 市町村保健対策推進事業	町民の健康づくり、栄養及び食生活の改善並びに普及を図るための事業	548	町民課 保健指導係

2-1-5 : 感染症の予防

- 予防接種の励行及び接種率の向上に向けて、対象者への周知徹底や啓発を図ります。
- 新型インフルエンザ等の感染症に備え、感染拡大を最小限にとどめるための対策を講じます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 予防接種事業	伝染のおそれがある疾病の発生 及びまん延を予防するための予防 接種の実施費	24,485	町民課 保健指導係
【継続事業】 結核対策事業	結核の早期発見による感染を予 防するため、結核健診を委託	1,888	町民課 保健指導係

2-1-6：地域での健康づくりの推進

- 地区の保健協力員と連携を図りながら、身近な地域での健康教室の開催や、スポーツや地域活動を通じた健康づくりなど、町の健康課題を共有し、生涯にわたる健康づくりを地域で互いに支え合うための環境整備を図ります。
- 健康づくりのための教室を行うボランティア等の人材育成に取り組みます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 保健センター管理費	身近な地域での健康教室の開催 や地域活動を通じた健康づくりす るための施設運営費	1,022	町民課 保健指導係

2-2 安心して子どもを生み、健やかに育つまち

(子育て支援)

1 基本方針

- 心身ともに健康な子どもが育つような子育て環境を整えるとともに、子育て家庭が抱える様々な悩みや不安の解消に努め、保育サービスの充実や、子育て家庭の支援を通じ、地域の中で安心して子育てできる環境づくりを進めます。
- 将来の中泊町を担う子どもたちを育てるという視点に立ち、家庭や地域、学校、行政などが一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整備します。
- 将来結婚し、子どもを持ちたいと考えている若い世代の希望をかなえるため、相談支援や出会いの機会づくり等、結婚に結びつく取り組みを推進する環境を整えることにより、未婚率の低減を図ります。

2 施策での取り組み

2-2-1：多様な保育の充実

- 次代を担う子どもたちが心身ともに健やかに育成されるよう、多様化する保育ニーズに対応するため、認定こども園の適正な配置による保育サービスの充実に努めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 特定教育・保育施設運営事業	認定こども園の適正な保育サービスを目的として、町内 4 施設のこども園の運営費を助成	273,422	福祉課 福祉係
【継続事業】 町外特定教育・保育施設入所事業	町外の認定こども園を利用している世帯に対し、町内の利用者と同様な保育サービスを受けることを目的として、町外施設のこども園へ入所者分を助成	28,935	福祉課 福祉係

2-2-2 : 母子保健活動の充実

- 母子ともに健康で安心して子育てができるよう、各種乳幼児健康診査の充実を図るとともに、未受診児の把握に努め、支援が必要な場合は適切な指導援助を行い、子どもの健やかな発達や育児不安の解消を支援します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 母子保健事業	母性並びに乳児及び幼児に対する保健指導、健康診査、医療その他の措置を講じるための費用	8,694	町民課 保健指導係
【継続事業】 育児等健康支援事業	新生児訪問支援を必要とする家庭への相談、指導、助言等を行うための運営費	180	町民課 保健指導係
【継続事業】 養育医療費給付事業	低体重で生まれた子どもの医療助成	484	町民課 保健指導係

2-2-3 : 保護児童等への対応の推進

- 関係機関・団体との連携のもと、児童虐待への対応、ひとり親家庭への支援の推進、障がい児対策の充実等、支援を必要とする子どもと家庭に対するきめ細かな取り組みを推進します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 要保護児童対策地域協議会 設置事業	関係機関の協力・連携を徹底することが必要となったことから、国の法改正に伴い、警察、学校関係者等も加入した協議会の運営費	45	福祉課 福祉係

2-2-4 : 子育て家庭に対する支援

- 保育料の無料化及び送迎支援、乳幼児及び小中学生の医療費無料化、小・中学生の就学に係る費用の支援等により、子育て家庭の経済的負担軽減を推進します。
- 子育て家庭同士の交流の機会を創出する地域子育て支援センターの機能を活かし、男性の積極的な育児への参加を促進するほか、子育て支援講演会の開催や地域における子育てに関する情報提供、相談体制の充実を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 こども医療費給付事業	子どもの健康の保持増進及び出 世育成環境の整備を図るため、乳 幼児・子どもが医療保険で医療の 給付を受けた場合の自己負担に係 る費用をその保護者に対して支給 する	23,862	福祉課 福祉係
【継続事業】 乳幼児・子どもインフルエ ンザ予防接種	子どもの健康の保持増進及び出 世育成環境の整備を図るため、乳 幼児・子どものインフルエンザ予 防接種に係る費用を負担	5,040	福祉課 福祉係
【継続事業】 地域子育て支援拠点事業	地域の中で安心して子育てでき る環境づくりのため、子育て支援 センターを運営費の一部を補助	5,196	福祉課 福祉係

2-2-5：地域における子育て環境の充実

- 公共施設や公共交通機関、多数の者が利用する建築物、公園などを妊婦や乳幼児を連れ
た人が快適に利用できるよう、託児室や授乳コーナーの設置及び乳幼児と一緒に安
心して利用できるトイレの改修等を行い、地域における子育て環境の充実を図ります。

2-2-6：地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりの推進

- 地域全体で子育てを支援する意識を醸成するとともに、発明クラブ活動・子ども会活
動・読書団体による読み聞かせイベント等、人と人、世代間交流といった多様なつな
がりを通じて地域全体で子育てを応援する仕組みづくりや子どもたちが地域内の幅
広い世代とともに育っていく環境づくりを進めます。
- ひとり親家庭など、子育て家庭の親子が地域で孤立することがないように、相互交流や
親睦を図り、地域社会全体で支える体制づくりを推進します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 少年少女発明クラブ補助金	小泊地域にある少年少女発明ク ラブの活動補助	150	社会教育課 社会教育係
【継続事業】 学校支援ボランティア活動 推進事業	子どもたちと地域の人とのつな がりをつくり、町民がいきいきと 暮らせるまちづくりのため、コー ディネーターを配置し、授業等の サポートするための費用	800	社会教育課 社会教育係

2-2-7：結婚・出産に結びつく支援の実施

- あおもり出会いサポートセンターへの登録や結婚に関連する情報提供などを行い、結婚を希望する人々のための橋渡しを行います。
- 子どもを持ちたいと考えている夫婦の希望を実現できるよう、不妊治療支援等、出産に結びつく支援を推進します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 不妊治療費助成事業	少子化対策の推進、若い世代の出産の希望をかなえることを目的に不妊治療や検査を受けた方に医療費等を助成	600	町民課 保健指導係
【継続事業】 ハイリスク妊産婦アクセス 支援事業	妊産婦が総合周産期母子医療センター等へ通院等するために要する交通費及び宿泊費の助成	50	町民課 保健指導係
【継続事業】 児童育成支援報償費	次世代を担う子供の誕生を祝うとともに、子育て支援の推進を目的とする報償費	1,830	福祉課 福祉係

2-3 生きがいと尊厳を持って高齢期を過ごせるまち

(高齢福祉)

1 基本方針

- 高齢者が健康でいつまでもいきいきと生活できるよう、生きがいづくりを推進し、高齢者の社会参画を促します。
- 介護保険制度の適正な運用により、介護予防に重点を置きながら、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域での見守りや支え合い、在宅福祉サービスの充実を図るとともに、地域の実情に即した地域包括ケアの構築、認知症対策を推進します。

2 施策での取り組み

2-3-1 : 生きがいづくりの推進

- 高齢者に対する生きがい活動支援や交通手段の支援充実等、高齢者の活躍の場を拡充することにより、シルバーパワーの活用を促進します。
- シルバー人材センターとの連携を深め、高齢者の再就職のための啓発活動を行います。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 シルバー人材センター事業	高齢化社会における福祉の増進、地域づくり等の活性化を図るため、高齢者の能力を活かせる就業等の社会参加活動を支援するため、運営費の一部を補助	8,541	福祉課 福祉推進係
【継続事業】 老人クラブ補助事業	老人クラブにより高齢者の生きがいや健康づくり等を実施し、社会活動への参加及び奉仕活動を推進するため、老人クラブ運営費を補助	2,222	福祉課 福祉推進係
【継続事業】 百歳祝事業	老人を敬愛し、100歳の長寿を祝うとともに、敬老思想の普及と生きがいづくりを図ることを目的として、祝い金を支給	612	福祉課 福祉推進係
【継続事業】 敬老会開催事業	高齢者敬老思想の普及と生きがいづくりを図ることを目的として、敬老会を開催	856	福祉課 福祉推進係

2-3-2 : 介護予防の推進

- 高齢者に対する介護予防事業を実施し、介護予防への取り組みの定着を図ります。
- 予防給付のうち、訪問介護・通所介護については、平成 29 年度から地域支援事業の形式に見直し、新しい介護予防・日常生活支援総合事業として実施します。

2-3-3 : 認知症の予防・啓発

- 地域において認知機能が低下した状態にある人の早期発見や認知症に関する正しい知識の普及に努めます。
- 介護予防事業等を通じて、認知症予防とともにその発症や進行を遅らせるための取り組みを推進します。

2-3-4 : 在宅福祉の推進

- 社会福祉協議会や民間事業者を活用しながら、ホームヘルプサービス事業等を中心とした在宅福祉サービスの充実に努めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1 年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【継続事業】 町社会福祉協議会補助事業	福祉サービスや相談活動等地域の福祉増進に取り組んでいる社会福祉協議会に運営費の一部を補助	13,294	福祉課 福祉推進係

2-3-5 : 地域包括ケア体制の構築

- 地域社会で必要とされる福祉人材を確保し、新しい福祉の考え方やケアマネジメントを中心とした福祉関係職員の充実に努めます。
- 町の保健活動、各種健診（検診）を通じて、対象者を早期発見し、介護・医療・予防・生活支援・住まいが連携した切れ目のない支援を提供する「地域包括ケア」の構築を進めます。
- 包括的・継続的ケアマネジメント事業の効果的な実現のため「地域ケア会議」を設置し、個別ケースの検討と地域課題の検討の両方を行います。

2-3-6 : 介護保険制度の運営・サービスの適正化

- 高齢者福祉施策及び介護保険事業計画に基づき、制度やサービスの周知をはじめ、要介護認定審査、苦情への適切な対応、総合的な推進体制の強化を図ります。
- 介護保険サービスについては、適切なサービスの質・量の確保に努めるとともに、在宅で安心した支援を受けられるよう、サービス基盤の整備に努めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 介護保険特別会計繰出金	適切なサービスの質・量の確保 に努めるため、介護給付費等を特 別会計に支出	259,990	福祉課 介護保険係

2-3-7：高齢者が住みよいまちづくりの推進

- 誰もが利用しやすい高齢者福祉施設の整備やバリアフリーのまちづくりの推進、地域での見守り活動等、高齢者が住みよいまちづくりを総合的に推進します。
- 災害時に高齢者が円滑に避難できるよう、地域と連携しながら必要な支援体制の構築を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 福祉安心電話	一人暮らし高齢者等の急病、災 害等に際し迅速な対応を図るた め、福祉安心電話を設置	661	福祉課 福祉推進係

2-4 地域の支えで自立をめざせるまち

(障がい福祉)

1 基本方針

- 住民一人ひとりの理解と支え合いを進めながら、障がいのある人がその人らしく地域で暮らせる環境づくりを進めます。
- 障がいのある人が地域で自立を目指せるよう、就労支援や障がい福祉サービスの提供体制を整備します。

2 施策での取り組み

2-4-1：障がいへの理解

- 障がいの有無に関わらず、誰もがともに生きる社会環境づくりを目指す*ノーマライゼーションの理念を実現するために、障がいに対する正しい理解と尊重し合う共生社会の実現に向けた啓発活動や教育の充実を図ります。

*ノーマライゼーション：

高齢者や障がいのある人等、ハンディキャップがあっても、ごく普通の生活を営むことができ、かつ差別されない社会をつくるという福祉や教育のあり方を示す考え方。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1 年間の予算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 障がい者相談員活動事業	障がいに対する正しい理解と尊重し合う共生社会の実現のため、心身障がい者相談員の報償	49	福祉課 福祉推進係

2-4-2：社会参加の促進

- 障がいのある人やその家族、地域住民等が自発的に行う活動を支援するなど、社会参加の機会の確保を支援します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1 年間の予算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 障がい者自立支援給付費	障がい者福祉サービスに係る自立支援給付費として助成	273, 101	福祉課 福祉推進係
【継続事業】 障がい児通所支援給付費	障がい児の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、児童発達支援、放課後等デイサービス施設等の利用料を給付	9, 375	福祉課 福祉係

【継続事業】 障がい者補装具給付事業	障がいのある人の活動を支援するため、障がい者補装具の費用を助成	2,610	福祉課 福祉推進係
【継続事業】 地域生活支援事業	障がいのある人やその家族が、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、障がい者生活支援、障がい者相談支援、障がい者移動支援、障がい者福祉ホーム運営の一部を補助	8,520	福祉課 福祉推進係
【継続事業】 福祉タクシー助成事業	障がいのある人の活動を支援するため、福祉タクシーの費用を助成	172	福祉課 福祉推進係

2-4-3 : 障がい福祉サービスの充実

- 障がいのある人が適切なサービスを利用できるよう、制度周知・相談体制の充実を図ります。
- 障がいの種別や程度に応じた多様なニーズに対応するため、障がい者福祉サービスの充実を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 重度心身障がい者医療助成 事業	障がい者福祉サービスの充実を図るため、重度心身医療診療報酬審査手数料、医療費の助成	26,569	福祉課 福祉推進係
【継続事業】 西北五広域福祉事務組合負 担事業	障がい者福祉サービスの充実を図るため、広域福祉事務組合の運営費を一部負担	11,221	福祉課 福祉推進係
【継続事業】 自立支援（更生）医療給付 費	身体障がい者の障がいを軽減するため、障がい者の通院と入院を助成	25,644	福祉課 福祉推進係
【継続事業】 自立支援（育成）医療費給 付費	障がい児の身体障がいを除去、軽減するため、障がい児の通院と入院を助成	50	福祉課 福祉推進係

2-4-4 : 療育体制の充実

- 保健・医療・福祉・教育等の関係機関との連携のもと、総合的な療育支援体制を構築し、障がいの早期発見、早期対応を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 療養介護医療費給付	総合的な療育支援を推進するため、障がい者の療養介護医療を給付	2,346	福祉課 福祉推進係

2-5 地域でともに支え合うまち

(地域福祉)

1 基本方針

- 地域における福祉意識の醸成を図りながら、住民、行政、福祉事業者、関係機関等が互いに連携して、支援が必要な住民を支えるための地域福祉活動を推進します。
- 地域福祉活動の担い手となる人材と団体の育成や支援体制の整備に努め、福祉サービスの向上に努めます。

2 施策での取り組み

2-5-1：地域福祉意識の醸成

- 地域における交流の場づくり、見守り隊活動等、人と人との絆、福祉への理解促進により、住民同士の支え合い意識の向上を図ります。

当町と日本郵便株式会社との間で「災害発生時の対応と平常時における高齢者等見守り活動の相互協力及び道路損傷等発見時の対応に関する協定」を平成 29 年 7 月 20 日、締結しました。この協定を締結したことで、毎日町内を見回っている郵便局のネットワークにより、高齢者の異常などの素早い情報をいただくことができ、行政サービスの向上に繋げることができます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 中泊町地域福祉施策推進協議会運営事業	福祉ニーズの多様化に対応し、地域の支え合いの充実を図るため、協議会を設置・運営する費用	217	福祉課 福祉推進係

2-5-2：支え合いの仕組みづくり

- 支援の必要な住民が適切な福祉サービスを受けられるよう、情報の提供や相談体制を確保するとともに、特に冬期や災害時に求められる「自助」「共助」「公助」が相互に作用する支え合いの仕組みづくりに取り組みます。

2-5-3：福祉活動の人材育成

- 地域福祉を支える担い手の育成や研修等への参加を促進するとともに、ボランティア団体や地域活動団体との連携等による地域福祉活動を推進します。

2-5-4 : 過疎地域における見守り隊活動の推進

- 地域における見守り活動の充実を図るため、見守り隊を行う協力団体を増やし、多様な団体による重層的な見守り活動の実施を目指します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 地域の見守り活動推進事業	高齢者の日々の不測の事態を回避するため、高齢者世帯の状況確認と緊急時通報の確保等を行う地域の見守り活動推進事業者へ委託	7,417	福祉課 福祉推進係

2-5-5 : 世代間交流の機会づくり

- 地域での顔の見える関係を深めるとともに、幅広い世代の住民が福祉活動に関わることのできるよう、世代間で交流する機会づくりを進めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 老人福祉センター管理運営 委託事業	中里地域における高齢者等の交流の場として設置した施設の運営費	14,597	福祉課 福祉推進係
【継続事業】 高齢者生活福祉センター管 理事業	小泊地域における高齢者等の交流の場として設置した施設の運営費	6,677	福祉課 福祉推進係
【継続事業】 母親クラブ補助事業	母親の親睦と協力を活動の基本として、地域における児童福祉の高揚を図ることを目的としている団体への活動補助	270	福祉課 福祉係

2-5-6 : 生活困窮者への支援

- 生活保護制度等に基づく支援とともに、関係機関との連携のもと、個々の状況に応じて、就労による経済的自立と生活支援を進め、自立を促進します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 老人措置施設入所事業	住まいのない方等を入所させ、安心して生活することを目的に、入所費を助成	9,342	福祉課 介護保険係

【継続事業】 多重債務者対策事業	消費者信用生活協同組合が行う 県内の多重債務者等の経済生活の 再生を図る事業に係る債務整理資 金及び生活再建資金の貸付事業に 係る貸付金	250	総務課 行政係
---------------------	--	-----	------------

2-5-7：社会福祉協議会、関係団体等の活動支援

- 社会福祉協議会をはじめ、民生委員・児童委員及び各種関係団体の活動支援に努め、地域に密着した各種地域福祉活動を支援します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 要援護者情報管理システム 整備事業	円滑な地域全体の福祉の推進に 向けて、民生児童委員と連携した 要援護者情報管理システムを運営 するためのデータ管理等の委託料	260	福祉課 福祉推進係
【継続事業】 民生児童委員設置事業	地域福祉の担い手として、住民 個々の相談に応じ、その生活課題 の解決にあたり、地域全体の福祉 の増進を目的として活動する協議 会の運営費	2,612	福祉課 福祉推進係

2-5-8：福祉のまちづくりの推進

- 高齢者や障がい者、子育て家庭など、誰もが利用しやすい施設整備やバリアフリー化による福祉のまちづくりを推進します。
- 福祉拠点となる総合福祉施設の整備、運営に取り組み、町内における地域福祉活動の活性化とともに、保健福祉施策の総合的な推進を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 内潟公民館管理費	内潟地区の誰もが利用しやすい 多目的施設の管理費	1,167	教育委員会 中央公民館
【継続事業】 武田公民館管理費	武田地区の誰もが利用しやすい 多目的施設の管理費	402	教育委員会 中央公民館
【継続事業】 地域集会所整備事業	中里地域の誰もが利用しやすい 施設の修繕料	501	財政課 管財係
【継続事業】 老人憩の家管理事業	小泊地区の誰もが利用しやすい 施設の管理費	718	小泊支所 管理係
【継続事業】 すくすく折戸館管理事業	地域における高齢者等の交流の 場として、設置した施設の運営費	327	小泊支所 管理係

2-6 安心して医療を受けられるまち

(医療)

1 基本方針

- 地域における医療体制を整備するとともに、高度医療体制や救急医療体制の充実を図り、住民が安心して日常生活を営める環境づくりに努めます。
- 今後の地域包括ケアの推進に向けて、保健・医療・福祉のさらなる連携を推進します。

2 施策での取り組み

2-6-1：医療体制の充実

- 多様化する医療ニーズに対応するため、町内外の医療機関との連携を強化するとともに、広域連合による医療供給体制の充実に努め、住民に適切な医療環境を提供します。
- 町内の診療所と中核病院との連携を強化し、緊急時や高度医療が必要になったときに、適確かつ迅速な医療サービスを受けられる体制づくりのために、必要な医療機器やネットワーク整備等を推進します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 つがる西北五広域連合（病 院事業）負担金	住民に適切な医療環境を提供す るため、津軽総合病院等の負担金	136,462	財政課 財政係
【継続事業】 小泊診療所	住民に適切な医療環境を提供す るため、診療施設の運営費の繰り 出し金	27,363	町民課 小泊診療所
【継続事業】 診療所整備事業	住民に適切な医療環境を提供す るため、武田診療所の修繕料	304	町民課 国保係
【継続事業】 国民健康保険特別会計（事 業勘定）繰出	保険者支援分町負担分、低所得 者向けの国保税の町負担分、出産 育児一時金町負担分等に関する繰 出金	202,204	町民課 国保係
【継続事業】 後期高齢者医療特別会計繰 出金	高齢者の適正な医療のための繰 出金	203,878	町民課 老保年金係

2-6-2 : 医師の確保

- 優れた医師を育てつつ、医師の意欲がわく環境の整備を推進し、県、大学と連携しながら医師の確保を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 医師確保対策に要する経費	住民に適切な医療環境を提供するため、医師確保対策に係るつがる西北五広域連合（病院事業）負担金	36,821	財政課 財政係
【継続事業】 医師確保対策事業負担金	住民に適切な医療環境を提供するため、医師確保対策に係る青森県国民健康保険団体連合会への負担金	208	財政課 財政係

2-6-3 : 保健・医療・福祉の連携

- 介護・医療・予防・生活支援・住まいが連携した切れ目のない支援を提供する「地域包括ケア」の構築等、引き続き、保健・医療・福祉の連携強化に努めます。

「中泊町地域包括支援センター」を設置して、高齢者や障がいのある人が安心して生活できるように支援する総合相談等を行い、介護サービスにとどまらず様々な相談に応じ、適切な保健・医療・福祉サービス機関、制度の利用に繋げるなどの総合的な支援を実施しています。

第3章 豊かな心と郷土を育むまちづくり

(教育・文化施策)

3-1 子どもたちがいきいきと学び育つまち

(学校教育・青少年健全育成)

1 基本方針

- 本町の将来を担う子どもたちの学ぶ意欲の向上と確かな学力の定着に取り組みます。併せて教職員の指導力の向上や教育環境の充実を図るなど、「知・徳・体」を育む学校教育の推進を図ります。
- 自立を促す青少年活動を充実するとともに、多様な世代が交流する地域活動への参加や、事件や事故から子どもたちを守る見守り活動など、健全な育成環境の充実を図ります。

2 施策での取り組み

3-1-1：学校教育の充実

- 児童生徒が一人ひとりの個性と能力を伸ばし、生きる力と豊かな人間性の形成につながるよう、学校教育の充実を図ります。
- 将来の地域を担う中学生の学習を支援するため、町独自の学習教室の検討など、読書を含めた学習習慣の定着や学力の向上に向けた教育環境の整備を進めます。
- 地域との交流を通じて児童生徒が地域の歴史や文化を学ぶ郷土への愛着を育む教育を推進します。
- 畑の学校体験等の農業体験やインターンシップ、職場体験等を通じて、地域の特長や魅力を知る機会を創出します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 教育委員会委員設置事務費	教育行政における重要事項や基本方針を決定する会議の委員	432	総務学務課
【継続事業】 事務局事務費	英語指導助手・スクールバス運転手・給食センター調理員等の臨時職員の社会保険料等、学校教育に係る学校生活支援員に係る謝礼、生徒・児童健診謝礼、小中学校体育文化振興費など	24,747	総務学務課

【継続事業】 通学合宿開催事業	児童の健全な心と体づくりのための開催費	201	社会教育課 社会教育係
【継続事業】 外国青年招致事務費	小中学生の英語の授業で日本人講師を補助し、生きた英語を子供たちに伝えるための指導助手2人分の招致に係る経費	8,405	総務学務課

3-1-2：教育環境の整備

- 時代のニーズに合った ICT 機器・教室の整備や校内ネットワークの改善を進めます。
- 適正な教育効果を得るため、保護者や地域の意見を聞きながら、時代のニーズに即した学校配置を検討するとともに、老朽化した校舎及び体育館等は計画的に耐震補強や改築に取り組みます。
- 通学の安全面からも、児童生徒の活動実態に合わせて通学バスの効率的運行に努め、スクールバスの更新を進めます。
- 学校内における問題への対応が、近年よりクローズアップされていることから、それらを支援する人員配置などにより、学校・子ども・保護者にとって理想的な教育環境構築を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 中里地区小学校施設管理事務費	児童が適正な教育を受けるため、電気・水道料、小学校の備品等を含む維持管理費	24,843	総務学務課
【継続事業】 小泊小学校施設管理事務費	児童が適正な教育を受けるため、電気・水道料、小学校の備品等を含む維持管理費	6,465	教育委員会 小泊事務所 学務係
【継続事業】 中里地区小学校スクールバス運行費	児童が適正な教育を受けるための小学校スクールバス運行費	24,599	総務学務課
【継続事業】 中里中学校施設管理事務費	生徒が適正な教育を受けるため、電気・水道料、中学校の備品等を含む維持管理費	16,977	総務学務課
【継続事業】 小泊中学校施設管理事務費	生徒が適正な教育を受けるため、電気・水道料、中学校の備品等を含む維持管理費	6,465	教育委員会 小泊事務所 学務係
【継続事業】 中里中学校スクールバス運行費	生徒が適正な教育を受けるための中学校スクールバス運行費	11,599	総務学務課
【継続事業】 小泊小・小泊中スクールバス運行費	生徒が適正な教育を受けるための中学校スクールバス運行費	6,186	教育委員会 小泊事務所 学務係

【継続事業】 中里小学校	基礎教材費、クラブ活動費、総合学習費、用紙代、燃料費ほか	3,187	総務学務課
【継続事業】 武田小学校	基礎教材費、クラブ活動費、総合学習費、用紙代、燃料費ほか	2,499	総務学務課
【継続事業】 薄市小学校	基礎教材費、クラブ活動費、総合学習費、用紙代、燃料費ほか	2,080	総務学務課
【継続事業】 小泊小学校	基礎教材費、クラブ活動費、総合学習費、用紙代、燃料費ほか	3,019	総務学務課
【継続事業】 中里中学校	基礎教材費、クラブ活動費、総合学習費、用紙代、燃料費ほか	5,654	総務学務課
【継続事業】 小泊中学校	基礎教材費、クラブ活動費、総合学習費、用紙代、燃料費ほか	3,244	総務学務課
【継続事業】 学校給食センター維持管理 事業	学校給食審議会費、調理員賃金、 消耗品、給食配達委託料ほか	42,208	学校給食セ ンター
【継続事業】 学校給食センター 賄材料 費	給食賄材料費	40,926	学校給食セ ンター
【継続事業】 教育委員会小泊事務所事務 費	教員住宅の修繕、学校用地借上 料	170	教育委員会 小泊事務所 学務係

3-1-3 : 「ふるさと」に対する誇りを高める教育の推進

- 小中学校が町内の外部講師を招いた「ふるさと学習」、子どもたちが議員となる「子ども議会」、少年の主張大会、子ども教室等、地域に触れ、「ふるさと」に対する誇りを高めるための取り組みを推進します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 まちづくり推進事業	講師を招く「ふるさと学習」等 地域に触れ、「ふるさと」に対する 誇りを高めるための取り組み	132	総合戦略課 企画係

3-1-4 : 家庭・地域と連携した学校づくり

- 学校教育活動や運営状況を積極的に公開するとともに、保護者や地域住民の意見やニーズを反映させるなど、学校・家庭・地域が連携して子どもを育てる学校づくりを推進します。

- 小・中・高校生（こども園含む）と高齢者との世代交流の場の提供を促進し、地域や人同士が交互に関わる学校づくり、地域づくりを推進します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 人権啓発活動事業	町内の各小学校に花苗を配布し、その栽培管理をとおして命の大切さなどの人権意識高揚を図る	15	総務課 行政係

3-1-5：放課後の居場所づくり・青少年育成運動の推進

- 小学校就学児童に適切な放課後の居場所となるよう、放課後学童保育の円滑な運営に向けて、学校及び関係機関との連携を図ります。
- 地域の大人が放課後等に子どもたちを見守る放課後子ども教室など、学校区ごとの円滑な放課後対策により、安全で健やかな子どもたちの居場所づくりを推進します。
- 地域活動や世代間等を通じて、地域ぐるみで青少年を守り育てる環境づくりを進め、青少年の健全育成に努めます。
- 「しない・させない・みのがさない」の宣言のもと、いじめのない教育環境づくりに務めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 放課後児童健全育成事業	安全で健やかな子どもたちの居場所づくりを推進するため、中泊町小学校児童の放課後の学童保育指導員の賃金	12,693	福祉課 福祉係
【継続事業】 放課後子ども教室開催事業 運営委員会	児童の健全な心と体づくりのため、運営内容を検討する運営会議	238	社会教育課 社会教育係
【継続事業】 放課後子ども教室開催事業 (中里小学校)	児童の健全な心と体づくりのため、教室の運営費	26	社会教育課 社会教育係
【継続事業】 放課後子ども教室開催事業 (武田小学校)	児童の健全な心と体づくりのため、教室の運営費	82	社会教育課 社会教育係
【継続事業】 放課後子ども教室開催事業 (薄市小学校)	児童の健全な心と体づくりのため、教室の運営費	91	社会教育課 社会教育係

【継続事業】 放課後子ども教室開催事業 (小泊小学校)	児童の健全な心と体づくりのため、教室の運営費	83	教育委員会 小泊事務所 社教係
【継続事業】 土曜学習推進事業	児童の健全な心と体づくりのため、教室の運営費	57	社会教育課 社会教育係
【継続事業】 放課後子ども教室開催事業 (図書館)	児童の健全な心づくりのため、読み聞かせ教室等の開催費	327	社会教育課 図書館
【継続事業】 放課後子ども教室開催事業 (博物館)	児童の健全な心づくりのため、平日午後・土日に「博物館たんけん隊」を開催	281	社会教育課 博物館
【継続事業】 放課後子ども教室開催事業 (漁火センター)	児童の健全な心づくりのため、読み聞かせ教室等の開催費	97	教育委員会 小泊事務所 社教係
【継続事業】 放課後子ども教室開催事業 (すくすくしたまえ館)	児童の健全な心づくりのため、読み聞かせ教室等の開催費	77	教育委員会 小泊事務所 社教係

3-1-6 : 各種支援（通学、資格取得、就学等）

- 進学・就職に有利な各種資格取得などに要する費用の助成、他市町村からの通学者支援を行い、生徒や保護者に対し、各種支援等の周知を図るほか、入学者増加に向けた取り組みを支援します。
- 就学援助費（学用品、通学用品、給食、修学旅行等）による助成制度の充実を図り、小・中学校の就学に係る費用を支援します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 中里高校新入学生徒就学援助助成事業	新入学生の教科書購入等助成	400	総合戦略課 企画係
【継続事業】 地域生活交通再生促進事業 (つがる市乗合タクシー運行費負担金)	つがる市より中里高校への通学するバス路線が無いことから、つがる市から往復する乗り合いタクシーの運行経費負担金	300	総合戦略課 企画係

3-1-7 : 子どもの安全確保

- 自然災害を含めた防災や防犯、交通安全への教育、見守り活動を進め、子どもの安全確保に努めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 婦人交通整理員設置事業	児童の登下校時において交通事 故から守るため、婦人交通整理員 を設置	960	総務課 消防防災係
【継続事業】 交通安全対策事務費	小学校新入学児童の交通安全対 策として、黄色い帽子の配布	93	総務課 消防防災係

3-1-8 : 高等学校教育の充実・強化への要請・支援

- 地域の特産物をセレクトし、高校生がお薦めする「中泊町特産品」のPR販売等、地元高校生が主体的に参加するイベントを開催し、地域との交流、連携を深めます。
- 統廃合寸前の高校が復活再生した事例などをヒントに、地元高校をどのように支援していくか、先進地視察または講師依頼等を行い、中里高校の維持、活性化につなげます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 中里高校活性化支援事業	町内のボランティア活動、なか どまりまつり参加等の取り組みに 係る補助	400	総合戦略課 企画係
【継続事業】 中里高校バス運行事業 (武田・中高線バス運行 委託料)	中里高校⇄武田地区⇄金木病院 ⇄津軽鉄道金木駅を運行する通 学・通院等のバス運行委託料	6, 104	総合戦略課 企画係

3-2 学びを通じて心の豊かさや交流を生むまち

(社会教育・家庭教育)

1 基本方針

- 住民がいつでも、自由に学習機会を選択して学習することができる環境づくりを目指し、住民の主体的な学習・発表機会の充実や指導者の養成などに努め、様々なまちづくりに貢献できる人材の育成を図ります。
- 公民館が、住民と協働により活動を企画・運営していく体制を強化するとともに、より多くの住民が気軽に参加し、新たな知識の習得や住民同士の交流につながる活動機会づくりを推進します。

2 施策での取り組み

3-2-1：社会教育の充実

- 住民ニーズに即した多様な講座・教室・大会等の企画・開催に努め、体系的な社会教育の推進を図り、学習意欲の向上を図ります。
- 歴史遺産や指定文化財等を体系的に整理し、住民に広く情報提供するとともに、学校教育、生涯学習等での活用をを推進します。
- ふるさと学習活動の展開や住民参加型の自主的文化芸術活動など、機会の創出に努めるとともに、高齢者の経験・知恵を伝える機会を創出します。
- 金魚ねぶた講座、門松づくり講座、公民館教室等の講座や教室を通じた世代間交流を推進します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 公民館運営審議会設置事業	公民館運営に係る事項について、計画審議	94	教育委員会 中央公民館
【継続事業】 各種教室開催事業 (中央公民館)	町民の一体感や社会教育活動を目的に、金魚ねぶた講座等、陶芸教室等の各講座や教室を開催	917	教育委員会 中央公民館
【継続事業】 中央公民館管理費	多くの住民が気軽に参加し、新たな知識の習得や住民同士の交流につながる場、公民館の管理費	13,463	教育委員会 中央公民館
【継続事業】 各種教室開催事業 (武田公民館)	町民の一体感や社会教育活動を目的に、着付け教室等を開催	45	教育委員会 中央公民館

【継続事業】 中泊町教育力アップ推進事業	各種講座、教室、映画上映会などの開催費	1,293	社会教育課 社会教育係
【継続事業】 横笛教室開催事業 (中央公民館)	住民参加型の自主的伝統文化活動の場	93	社会教育課 社会教育係
【継続事業】 各種教室開催事業 (漁火センター)	町民の一体感や社会教育活動を目的に、各種教室を開催	427	教育委員会 小泊事務所 社教係
【継続事業】 各種教室開催事業 (すくすくしたまえ館)	町民の一体感や社会教育活動を目的に、和裁・洋裁教室を開催	90	教育委員会 小泊事務所 社教係

3-2-2 : 人材育成・団体等の活動支援

- 生涯学習を推進するため、指導者の発掘やリーダーの育成など人材の育成に努めます。
- 各種社会教育団体、学習団体・グループの育成・支援に努め、主体的な社会教育活動を促進します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 社会教育委員設置事業	社会教育委員の会議費	130	社会教育課 社会教育係
【継続事業】 青少年問題協議会委員設置 事業	青少年の指導、育成、保護及び 矯正に関する総合的なことについ ての協議会	154	社会教育課 社会教育係
【継続事業】 各種負担補助事業 (社会教育総務)	町連合婦人会研究費、町連合PTA 運営費、子供会育成連合会運営費	217	社会教育課 社会教育係
【継続事業】 成人式開催事業	友人や恩師と再会し、気持ちを 新たに社会に羽ばたける機会	232	社会教育課 社会教育係
【継続事業】 小泊事務所費（社会教育）	ふれあい学習室、社会教育指導 員等の報酬、需用費	1,032	教育委員会 小泊事務所 社教係

3-2-3 : 社会教育関連施設の整備

- 耐震診断の実施等、住民が施設を安心して利用できるよう、施設の把握に努めます。
- 老朽化が著しい施設等は、計画的な改修等により機能維持に努めます。

3-2-4 : 学習成果の活用

- 住民の学習活動を支援し、学習の成果を今後のまちづくり・人づくりに活かせるよう、イベント等での発表等、学習の成果を活用する場を確保し、住民の学習意欲の向上に努めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 町民文化祭開催事業 (中里会場)	文化・産業・健康をスローガン に日頃の学習成果を発表・展示	616	教育委員会 中央公民館
【継続事業】 町民文化祭開催事業 (小泊会場)	文化・産業・健康をスローガン に日頃の学習成果を発表・展示	237	教育委員会 中央公民館
【継続事業】 少年の主張大会開催費	広い視野にたった柔軟な発想や 想像力が求められており、その発 表の場を設ける	37	社会教育課 社会教育係

3-2-5 : 家庭教育の充実

- 子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会の提供や家庭の役割の重要性を啓発するために、必要な情報提供、親子のふれあいを重視した体験活動を実施するなど家庭教育の充実に努めます。

3-3 スポーツを通じて人や地域つながりをつくるまち (社会体育)

1 基本方針

- 健康志向の高まりなどを踏まえ、広く住民参加につながるスポーツ・レクリエーション活動の推進に努めます。
- 住民の誰もが生涯にわたり、目的や体力に応じてスポーツを楽しめるよう、施設や設備の計画的な整備による安全対策を進めるとともに、指導体制の充実やスポーツ活動の振興、スポーツ団体の育成などに取り組み、ソフト・ハードの両面からスポーツを楽しめる環境づくりに取り組みます。

2 施策での取り組み

3-3-1：社会体育活動の推進

- スポーツ活動の必要性や重要性に関する広報・啓発を推進するとともに、プロスポーツ選手を招いた教室の誘致を図り、住民のスポーツへの関心を高めます。
- 生活習慣病予防など、スポーツイベントの開催等を通じて、住民の健康づくりを支援します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 スポーツ推進委員設置事業	スポーツ活動の必要性や重要性を踏まえ、取り組み内容を検討	170	社会教育課 社会教育係
【継続事業】 各種負担補助事業 (保健体育総務)	県スポーツ推進協議会及びスポーツ大会開催など町体育関係への補助	5,235	社会教育課 社会教育係
【継続事業】 各種大会開催費	町民スポーツの推進及び体力保持や町民相互の交流のため	1,604	社会教育課 社会教育係
【継続事業】 生涯学習振興事業	各世代にわたって広くスポーツ・レクリエーションなどの社会体育活動に取り組み、生きがいくくりや健康づくりにつなげる	25	社会教育課 社会教育係
【継続事業】 海洋センター各種教室開催費	青少年の健全育成のため、水泳教室や記録会を開催	116	教育委員会 海洋センター

3-3-2：総合スポーツクラブの設置

- 住民の活動目的やニーズにあったスポーツ活動を推進するとともに、住民主体による総合スポーツクラブの設置を支援します。

3-3-3：社会体育関連の整備

- 老朽化や耐震性、安全性に対処するとともに、住民のニーズに対応した施設の充実・整備に取り組みます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【継続事業】 中泊町総合運動公園維持管理事業	体育活動の拠点、スポーツ活動に係る住民の交流の場	10,885	教育委員会 体育センター
【継続事業】 体育センター維持管理費	体育活動の拠点、スポーツ活動に係る住民の交流の場	6,093	教育委員会 体育センター
【継続事業】 宝の森広場維持管理費	スポーツ活動に係る住民の交流の場	31	教育委員会 体育センター
【継続事業】 こどもりふれあい運動場維持管理事業	学校体育及び社会体育活動の拠点、スポーツ活動に係る住民の交流の場	3,089	教育委員会 小泊事務所 社教係
【継続事業】 中里ふれあい運動場維持管理事業	町民スポーツの推進及び体力保持や町民相互の交流のための運動場の管理	585	社会教育課 社会教育係
【継続事業】 スキー場管理運営費	町民スポーツの推進及び体力保持や町民相互の交流のためのスキー場の維持・管理	1,688	社会教育課 社会教育係
【継続事業】 海洋センター維持管理費	町民スポーツの推進及び体力保持や町民相互の交流のための海洋センターの維持・管理	4,735	教育委員会 海洋センター

3-3-4：指導者の育成・確保

- 長期的・組織的に競技力向上を目指すために、優れた指導者の育成を行います。
- 大会等における運営支援となるボランティアの育成・確保に努めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【継続事業】 保健体育総務事務費	委員研修費、消耗品ほか	237	社会教育課 社会教育係

3-4 郷土の歴史文化を継承するまち

(地域文化・芸術活動)

1 基本方針

- 先人が残した文化財や伝統芸能の保護、継承を進め、町内外に広く周知し、まちづくりに活用できるよう努めます。
- 「パルナス」を文化芸術活動の拠点として有効活用し、住民の文化芸術活動の推進を図ります。

2 施策での取り組み

3-4-1：地域文化の保存活動の推進

- 歴史文化資源の保存のため、社会教育や生きがい対策とも連携して、調査と資料の整理、住民への啓蒙等に努めます。
- 伝統的行事・伝統芸能を保護継承するため、世代間交流の活発化を図ります。
- 地域の祭り、イベントの開催により郷土愛の醸成を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 なかどまりまつり運営補助 金	伝統文化の保存と継承、地域住 民の交流の機会を創出し、世代間 交流をすすめることを目的とし て、なかどまりまつりの運営費の 一部を補助	4,200	水産商工観 光課 商工
【継続事業】 なかどまりスノーフェア開 催事業	冬の魅力発見と郷土愛の醸成を 図るため、イベントを開催	400	総合戦略課 企画係

3-4-2：文化活動の指導者の確保、養成

- 文化活動の指導者の確保、養成に努めるとともに、各種サークル育成、活動を積極的に支援します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 各種負担補助事業 (芸能文化振興)	郷土の文化活動を継承、文化の 薫り高いまちづくりを推進するた め、文化活団体へ活動費を助成	150	社会教育課 社会体育係

3-4-3 : 文化施設の整備・活用

- 総合文化センターを活用し、芸術に触れる機会を提供します。
- 子どもたちの豊かな感性を育成するため、総合文化センターを活用し、芸術鑑賞の機会を提供するほか、住民の文化教養を深めるため、博物館の機能充実、図書館の蔵書増強を図りながら、収集資料のPRなどによって利用促進に努めます。
- 地域のグループ活動の活性化や世代間の交流のために、身近な施設の活用促進を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 総合文化センター運営事業	中泊町総合文化センター「パル ナス」運営費	41,445	教育委員会 文化ホール
【継続事業】 日本海漁火センター管理費	地域のグループ活動の活性化や 世代間の交流のために、身近な施 設の活用促進を図るための施設運 営費	6,751	小泊支所 管理係
【継続事業】 小中学校芸術鑑賞会開催事 業	子どもたちの豊かな感性を育成 するため、芸術に触れる機会を創 出	469	社会教育課 社会教育係
【継続事業】 図書館運営費	図書館の適正な運営のため、図 書システム使用料等の維持管理費	2,765	社会教育課 図書館
【継続事業】 図書購入事業	文化教養を深めるため、図書購 入（蔵書増強）費	1,746	社会教育課 図書館

3-4-4 : 歴史文化資源の活用

- 地域の歴史文化への理解を深めるため、啓発活動や講座の開催等を通じて住民の意識の向上を図ります。

○ 町内の歴史文化資源を観光資源として有効活用を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 文化財審議会委員設置事業	文化財の保存及び活用に関する 調査、審議、答申、具申等を行う	80	教育委員会 博物館
【継続事業】 文化財保護事業	文化保護法に定められた事業の 実施、地域の象徴・財産である有 形無形・埋蔵文化財の保存管理と 活用を図る	100	教育委員会 博物館
【継続事業】 博物館活動事業	地域社会・利用者と共に成長す る博物館づくりの推進のため、地 域の特性を活かした展示公開と教 育普及事業を実施	421	教育委員会 博物館
【継続事業】 博物館活動事業報償費	地域の特性を活かした展示公開 と教育普及事業に係る報償費	160	教育委員会 博物館
【新規事業】 博物館整備事業	展示機器の更新事業 (平成 29 年度で終了)	3,500	教育委員会 博物館
【継続事業】 博物館分館整備事業	収蔵展示・分類展示を主軸とす る今泉分館・下前分館の整備及び 一般開放を行う	680	教育委員会 博物館
【継続事業】 中里城跡史跡公園管理運営 費	地域の歴史文化への理解を深 め、観光資源としても活用	580	社会教育課 社会体育係

第4章 環境と共生する安全安心なまちづくり

(生活環境施策)

4-1 秩序ある町土・景観を保全するまち

(土地利用・景観)

1 基本方針

- 住民が快適な生活環境と豊かな自然環境がもたらす「大地の恵と海の幸」を永久に失わないよう、環境保全とともに、適正な土地利用を推進します。
- 住民と協働による豊かな自然環境が生み出す景観の保全や身近な環境美化に取り組みます。

2 施策での取り組み

4-1-1：適正な土地利用

- 住民の生活利便性や安全性、農地・集落地の環境改善・保全に向けて、国土利用計画法及び関連する土地利用関係法令に基づき、バランスのとれた土地利用調整を図ります。
- 農業振興や森林整備に向けて、土地の機能に応じた計画的な利用や保全を進め、農林業の振興を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成29～31年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【継続事業】 土地利用規制対策事業	国土利用計画法に基づき、土地の投機的取引や地価高騰を抑制し、適正な土地利用の確保を図る	43	総合戦略課 企画係

4-1-2：自然環境・景観の保全

- 自然環境が多く残る地域では無秩序な開発を抑制し、豊かな自然や景観の維持・保全を図ります。
- 本町の自然環境の保全に向けて、住民との協働のもとに環境美化活動を進め、住民・事業者等との連携・協働による地域ぐるみの活動を推進します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 EM菌活用環境浄化事業	土壌の浄化作用があるEM菌活性液の無償配布、EM石鹼利用による生活排水の浄化費	175	環境整備課 衛生係
【継続事業】 富野桜つつみ公園維持管理事業	岩木川堤防の緑地帯に環境美化と住民の憩いを目的に整備した公園の維持管理費	858	環境整備課 土木係
【継続事業】 今泉河川公園維持管理事業	今泉旧河川横にある河川公園であり、住民の憩いを目的に整備した公園の維持管理費	454	環境整備課 土木係
【継続事業】 滝ノ沢ふるさと砂防愛ランド維持管理事業	住民と観光客の憩いの場として、滝ノ沢砂防公園は整備され、ホテルの里としても認知されている公園の持管理費	1,310	環境整備課 土木係
【継続事業】 環境整備促進事業	公共施設の草刈り機械の維持管理費、ごみ収集ボックスの設置費	1,198	環境整備課 衛生係

4-1-3 : 農村集落機能の保全

- 農村集落機能の保持と農業・農村の持続的発展を図るために、各集落で培われた地域の伝統文化の伝承や水源のかん養、自然景観等の保全に努めます。

4-2 快適で住みよい環境へ定住するまち

(住環境・定住促進)

1 基本方針

- 安全で良好な住環境の整備を促進するとともに、空き家対策や町営住宅等の適切な維持管理、長寿命化等を推進することにより、既存住宅ストックの有効活用を図りながら、若年層向けの快適な住宅を併せて整備します。
- 様々な世代の移住希望をかなえるために、移住・定住を支援する仕組みや空き家の活用を促進させる制度等について検討を進め、中泊町に「住もう」「帰ろう」と思える環境整備を推進します。

2 施策での取り組み

4-2-1：公営住宅の整備

- 適地を選定し、宅地造成事業の推進や民間住宅開発事業の誘発等を進めます。
- 老朽化した公営住宅の改修・建替・集約化整備等を、目的に合わせて、民間活力も活かしつつ効果的かつ計画的な整備に取り組みます。
- 若年層の定住を促進するため、若年層が定住を希望するような公営住宅の整備を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 公営住宅建設事業	公営住宅の建設費（6 棟 12 戸）	405,898	環境整備課 建築係
【継続事業】 公営住宅維持管理費	公営住宅の外灯、共同浄化槽費 用、修繕費	15,961	環境整備課 住宅管理係
【継続事業】 既設公営住宅改善事業	町営住宅空家住宅解体工事費	5,500	環境整備課 住宅管理係

4-2-2 : 空き家対策の推進

- 住民が安全・安心に生活できる環境づくりを図るため、適正に管理されていない空き家への対策を進め、崩壊等のおそれのある危険なものに関しては解体・撤去を基本とし、その他利活用が可能なものに関しては、所有者の意向とニーズをマッチングする仕組み構築や、改修費用の助成など必要な対策の実施に努めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【継続事業】 空き家利活用促進事業	空き家バンクに登録した移住者と所有者の間で、売買契約・賃貸契約が締結の場合、住宅改修補助金、家財処分費補助金を補助	1,100	総務課 庶務係
【継続事業】 空き家対策事業	危険家屋に認定を受けた空き家において、倒壊による事故や犯罪を未然に防ぐため、解体・撤去等を行う補助金	1,200	総務課 消防防災係

4-2-3 : 移住に必要な情報の収集及び提供、空き家等の活用

- 空き家の調査を実施し、データベース化して移住者への情報提供するための空き家バンク制度づくりを進め、空き家等の活用を図ります。
- 移住者等に対して、必要な情報提供を行う体制や移住体験施設の整備、改修費用等の助成、賃貸料金の助成等を実施し、移住支援や受け入れ体制の充実を図ります。

4-2-4 : 首都圏向けの情報発信

- 大都市圏や首都圏等に向け、本町の自然環境や中里・小泊両地域の魅力を様々な媒体を活用して発信し、本町の知名度を高めます。
- 県及び広域圏の市町村と合同で首都圏向けにタブロイド紙等を作成配布し、情報発信に取り組むほか、移住セミナー等を通じて本町の魅力を PR し、大都市圏や首都圏等からの移住促進を図ります。

4-2-5 : 農漁村地域への移住、定住に向けた交流の推進

- 都市部や姉妹都市等との交流をはじめ、修学旅行の招致や地域資源を活かした農林水産業体験等の滞在型観光を通じて、農漁村地域への移住、定住に向けた交流を推進します。

4-2-6 : 「お試し移住」を含めた「二地域移住」への支援

- 改修した空き家や町宿泊施設等を活用し、町の暮らしを体験してもらう「お試し移住」や別荘として活用してもらう取り組みなど、移住に関心のある方への「二地域移住」を支援します。

4-2-7 : 積雪時期の仮住まいの提供

- 冬期間、積雪により、買い物や移動が困難な高齢者等が一時的に移住する積雪時期の仮住まいを整備、提供し、冬季の生活を支援します。

4-2-8 : 火葬場の整備

- 多様化する火葬場等のニーズ把握に努め、つつがなく最後の儀式を行えるよう住民のニーズに配慮した火葬場の整備を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 斎場管理費	中里、小泊斎場管維持管理運営 費	12,330	環境整備課 衛生係
【継続事業】 墓地管理事業	墓地公園水道料ほか	179	環境整備課 衛生係

4-3 道路・通信網で地域や暮らしの利便をつなぐまち

(道路・公共交通・情報通信)

1 基本方針

- 住民の身近な交通手段の確保を図り、買い物や医療、福祉等の生活サービス機能が集積した町内の拠点と地域の生活拠点が有機的に連携し、住民生活の利便性や安全性、産業活力の向上につながる道路網・交通網の整備を推進します。
- 冬期間の交通確保に向けて、除排雪体制の整備や消・防雪施設の整備や通年交通体系の確保に努めます。
- 地域の活性や暮らしの安全等、交流促進につながる情報格差のない通信環境の確保に努めます。

2 施策での取り組み

4-3-1：国道及び県道の整備

- 側溝未整備区域や狭あい箇所の整備を関係機関に働きかけていきます。

4-3-2：町道の整備

- 生活環境に密着した道路を重点的に整備するとともに、公共施設、観光レクリエーション施設などへのアクセス道路の整備を進めます。
- 通学路などについては、安全対策を重視した重点的な整備を図ります。
- 小泊地域へのアクセス道路は国道 339 号しかなく、災害発生時は孤立状態となる可能性が高いため、別のアクセス道路の整備を検討します。
- 定期的な道路・橋梁の点検に努め、適切な維持管理対策を計画的に推進し、改修・維持に努めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 道路新設改良事業	町道の新設改良工事費ほか	25,998	環境整備課 土木係
【継続事業】 道路ストック改善事業	町道の維持管理に係る補修費	12,002	環境整備課 土木係

【継続事業】 橋梁維持事業	事故を未然に防止するため、町道の橋梁の点検業務と修繕を行う	2,936	環境整備課 土木係
【継続事業】 社会資本整備総合交付金事業（橋梁長寿命化事業）	橋梁の長寿命化と事故防止のため、町道の橋梁の補修工事を計画的に行う	59,206	環境整備課 土木係

4-3-3：農道及び林道の整備

- 農業機械の大型化に対応した農道整備を進めるとともに、広域農道の機能向上を関係機関に働きかけます。
- 森林の機能区分等を勘案して林道整備を進めます。

4-3-4：公共交通の確保

- 公共交通機関は、乗降客数の極端な減少により赤字路線が増えていますが、住民の足を守る立場から積極的な支援を行い、交通機関の確保に努めます。
- 公共交通事業者に対し、必要な支援を関係者の広域的な協議により検討します。
- 津軽鉄道の再興を支援し、観光、イベント等による活用を図り、利用者の増加を目指します。
- 飛び地合併及び公共交通機関の廃止路線対策として、今後も巡回コミュニティバスを運行するとともに、高齢者等の交通弱者の利用に向けて安全な低床バスの導入、予約が可能なデマンドバス・タクシーの運行を検討します。
- 住民だけでなく町イベントの参加者や町を訪れた来町者を町内へ誘引する仕組みについて検討します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1 年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【継続事業】 地域公共交通会議設置事業	地域の公共交通について審議する会議	21	総合戦略課 企画係
【継続事業】 地域拠点連絡バス運行事業	飛び地合併の不都合を解消すべく、両地域の一体感醸成のために実施	5,827	総合戦略課 企画係
【継続事業】 津軽鉄道活性化協議会	利用客の減少により、経営難に陥っている津軽鉄道の活性化を目的に、当町・五所川原市・津軽鉄道で組織する会議	156	総合戦略課 企画係

【継続事業】 津軽鉄道軌道輸送対策事業	利用客の減少により、経営難に陥っている津軽鉄道の利用客を安全に輸送するため、枕木、踏切、鉄道車両などの補修費に係る補助	448	総合戦略課 企画係
【継続事業】 地域生活交通再生促進事業（五所川原⇄中里⇄小泊路線バス負担金）	弘南バスの五所川原⇄中里⇄小泊線の路線バスにおいて、乗車密度が5人未満（現在約4.6人）になり、町の負担（全体の8%）が発生となったことから	1,946	総合戦略課 企画係

4-3-5：冬期間の交通確保

- 生活路線を確保するため除排雪体制の強化を図るとともに、スタッドレスタイヤに対応した道路整備を推進します。
- 防雪柵、消雪パイプ、ロードヒーティング、融雪溝等、消・防雪施設の整備により、通年交通体系の確保に努めます。
- 冬期間の交通確保のため、国道及び県道への消・防雪施設の整備を一層働きかけていきます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成29～31年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【継続事業】 町道除雪事業	町道除雪作業を実施し、住民生活及び通行車両の安全を確保	69,352	環境整備課 土木係
【継続事業】 雪対策施設維持事業	町道防雪柵張出収納工事等の住民生活及び通行車両の安全を確保	29,811	環境整備課 土木係
【継続事業】 町道354号線融雪溝整備工事	旧中里役場庁舎前の大通りに設置する融雪溝整備工事費	60,600	環境整備課 土木係
【継続事業】 道路橋梁維持事務費	冬期間の融雪溝、克雪センター、紅葉坂地下道排水ポンプ等の電気料ほか	2,774	環境整備課 土木係

4-3-6：情報化の推進

- 情報通信技術を利用した市場動向、消費者ニーズの把握、農作物の生産や販売など産業経済活動の支援環境整備に努めます。
- 医療・福祉・教育・防災など公共的分野の情報化を推進し、情報ネットワークを利用した行政サービスの充実と行政情報の公開に努めます。
- 国・県の動向及び民間企業等の情報通信技術動向を注視しながら、町内全域の高速通信網更新、新サービスや技術導入に努めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 情報通信（光ファイバー） 施設維持管理事業	電柱供架使用料、光ケーブル保 守点検、光ケーブル移設工事ほか	12,951	総務課 情報管理係
【継続事業】 住民基本台帳ネットワー ク事業	住民基本台帳ネットワークシス テム機器更新リース料ほか	2,069	町民課 戸籍住民係
【継続事業】 戸籍住民基本台帳事務	戸籍総合システムブックレス保 守料、戸籍総合システムソフト使 用料、戸籍総合システムリース料 ほか	8,704	町民課 戸籍住民係
【継続事業】 郵便局窓口証明事務委託 事業	武田郵便局、内潟郵便局での各 種証明書交付に係る通信料ほか	311	町民課 戸籍住民係
【継続事業】 パソコン管理費	ハードウェア、ソフトウェア保 守点検委託料、基幹システム等更 新リース料ほか	49,627	総務課 情報管理係
【継続事業】 庁内ネットワーク強靱化 事業	庁内ネットワーク強靱化機器等 リース料	10,498	総務課 情報管理係
【継続事業】 地方公共団体情報システ ム機構負担金	青森県自治体情報セキュリティ クラウド負担金	1,100	総務課 情報管理係

4-4 安全な水の供給と水資源を保全するまち

(上下水道)

1 基本方針

- 住民がこれからも安心して水を利用することができるよう、水質の安全性を高めるとともに、継続して安定した供給に向けた施設等の長寿命化、更新に取り組みます。
- 各地域や家庭で下水道への接続を促進するため、積極的な普及・啓発により、衛生環境の確保に努めます。

2 施策での取り組み

4-4-1：水道施設の整備

- 安定供給に向けた水源の確保、水質管理の徹底、水道管路の改修等を推進し、上水道事業の効率化及び未整備区域の解消に努めます。
- 緊急事態に備えた水道施設整備を推進します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 水道事業特別会計繰出金	地域特性等の事情により、資本費が国の基準額を上回った自治体に、その差額に有収水量を乗じた額を交付税として交付し、水道事業の健全経営のため補助	11,733	上下水道課 庶務係

4-4-2：下水道・下水路の整備

- 美しい自然環境と快適な居住空間を確保するため、地域特性を活かした下水道整備方針を再構築します。
- 公共下水道事業や集落排水事業、浄化槽市町村整備推進事業等を推進し、適正な維持管理を行います。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 漁業集落排水事業特別会計 繰出金	経営努力による今後の加入率向上を加味しても、地理的要因、事業規模のスケールメリットもなく、供用当初想定した以上の区域内人口減少、節水等による一世帯当たりの汚水処理水量の減少傾向にあり、汚水資本費全額が利用者負担とすることは難しく、客観的に回収不可能な不採算経費として分流式下水道に要する繰出し	19,638	上下水道課 下水道係
【継続事業】 農業集落排水事業特別会計 繰出金		34,571	上下水道課 下水道係

4-5 環境にやさしく資源を循環するまち

(循環型社会・環境保全)

1 基本方針

- 本町の通称「もったいない条例」に基づき、ごみ減量に資する各種事業を展開し、環境にやさしく安全で安心な循環型社会のまちづくりに取り組みます。
- ごみやし尿などの適切な収集・処理を進め、住民が清潔で快適な暮らしを営めるよう努めます。
- 住民・事業者・行政の連携協力のもと、環境保全につながる取り組みを進め、住民にとって暮らしやすい環境づくりに取り組みます。

2 施策での取り組み

4-5-1：資源リサイクルの推進

- ごみ分別意識の高揚を図るための啓発活動、広報等、家庭における資源循環を促進します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 清掃事務費 (審議会費ほか)	廃棄物減量等推進審議会開催費、あおもり循環型社会推進協議会負担金	133	環境整備課 衛生係
【継続事業】 ごみ収集業務委託事業	中泊町のごみ収集・資源ごみ収集	39,576	環境整備課 衛生係
【継続事業】 西北五環境整備事務組合負担金事業	ごみ焼却施設運営費用ほか町負担分 (10.1%)	72,462	環境整備課 衛生係
【継続事業】 中泊廃棄物処分場管理事業	中泊町最終処分場維持管理費	53,938	環境整備課 衛生係
【継続事業】 小泊不燃物処理場適正化事業	小泊不燃物処理場閉鎖工事費 (平成 29 年度で事業完了)	203,703	環境整備課 衛生係

4-5-2 : 不法投棄の防止

- 不法投棄の防止に努めるとともに、環境美化活動を通して身近な自然に親しみながら、一人ひとりの環境意識の向上に努めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 清掃事務費 (不法投棄処分費)	不法投棄処分費用	789	環境整備課 衛生係

4-5-3 : 再生可能エネルギーの活用

- 地球温暖化の防止に向けて、風力や太陽光、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーの活用を進めます。

4-6 いざというときに備えるまち

(消防・救急体制・防災)

1 基本方針

- 住民の生命・財産を守る消防車両や資機材の更新・整備、消防団の充実などにより、地域の消防救急体制の強化を図ります。
- 消防・防災分野だけでなく、農業用水利等、あらゆる関係部署と連携し、総合的に防災・減災対策を進めます。
- 風水害や地震・津波災害等、災害時に速やかに避難できる体制を整備する等、防災・災害対応機能の向上を図るとともに、住民と行政との「自助」「共助」「公助」による防災意識の普及に努め、いざというときに迅速な対応がとれるよう、関係機関、自主防災組織と連携した共助の体制づくりを進めます。

2 施策での取り組み

4-6-1：消防救急施設の整備

- 地域防災計画の策定やハザードマップの作成等を実施し、危険箇所の点検・予防対策の実施など、災害に強いまちづくりを進めます。
- 常備・非常備消防の組織及び庁舎・屯所・装備等の強化・充実を図るとともに、救急救命体制の充実を図ります。
- 消防組織と住民自ら取り組む自主防災組織との連携強化、消防水利施設の整備推進等を進めます。
- 国が進める広域消防体制の充実・強化を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 五所川原消防事務組合負担事業	消防本部経費、消防署経費に係る負担金	429,795	総務課 消防防災係
【継続事業】 消防施設維持管理事業	防災無線通信料、電気料、消防水利の確保と維持を図るため、消防施設の修繕ほか	8,231	総務課 消防防災係
【継続事業】 消防団運営事業	常備消防と非常備消防とが連携して災害に対する被害軽減を図るため、消防団を運営する	12,382	総務課 消防防災係

【継続事業】 各種負担補助事業	非常勤消防団員等公務災害補償等負担金、総合防災情報システムほか	7,890	総務課 消防防災係
【継続事業】 安全装備整備事業	非常勤消防団員防災活動に係る活動服やホース等の費用	446	総務課 消防防災係
【継続事業】 災害対策事業（小泊地区）	小泊地区の折戸・稲荷避難所の管理費	257	小泊支所 管理係
【継続事業】 消防団運営事業（小泊地区）	小泊地区の消防施設（屯所）の水道料	120	小泊支所 管理係
【継続事業】 旧下前小学校管理事業	下前地区の避難場所の維持管理	983	教育委員会 小泊事務所 社教係

4-6-2：防災・減災対策の推進

- 沿岸地域の小泊地域は、津波への対策が急務であることから、津波避難計画に基づいた円滑な避難が図られるよう、必要な情報提供、案内看板の設置等の対策を進めます。
- 土砂崩れや岩石崩落の危険がある場所の状況を絶えず把握し、その崩落対策を促進します。
- 洪水に備えるため、河川の水害対策をあらゆる関係機関に働きかけるとともに、速やかな排水を促すため排水路の整備を計画的に進めます。
- 自然災害による停電や冬期の災害発生など、二次災害、複合災害に備えた防災機能の充実に努めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成29～31年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【継続事業】 災害対策事業	防災行政無線の維持管理保守点検費、補修費ほか	8,525	総務課 消防防災係
【継続事業】 自衛官募集事務費	町自衛隊協力会ほか	59	総務課 消防防災係
【継続事業】 水防事業	今泉川防火水槽泥上げ作業に係る重機等借り上げ料ほか	108	総務課 消防防災係
【継続事業】 河川維持事業	河川の水害対策を防止するための河川維持補修	2,379	環境整備課 土木係
【継続事業】 岩木川堤防除草事業	国土交通省が一級河川岩木川の堤防を保護する目的で、町をとおして、流域の集落へ除草業務委託	16,779	環境整備課 土木係

4-6-3 : 地域防災力の向上

- 地震・津波・大雨などの災害に対して、地域住民が自主的に防災に備え、自主防災組織の組織化・研修・必要品などの支援を行います。
- 地域の自主防災活動を通じて、地域住民と学校が連携して合同防災訓練を実施し、地域における防災意識や地域防災力の向上、災害情報の収集、避難所支援機能の強化を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 中泊町地域防災計画会議 開催事業	地域防災計画の修正に伴い、防 災会議を開催	11	総務課 消防防災係
【継続事業】 各種負担補助事業	五所川原地区交通安全協会負担 金ほか	268	総務課 消防防災係
【継続事業】 各種負担補助事業	自主防災組織活動事業補助金、 県地域情報ネットワーク負担金	1, 135	総務課 消防防災係
【継続事業】 交通災害共済加入推進事 業	交通災害見舞金制度について、 団体の代表者に加入促進活動への 謝礼支払い	205	総務課 消防防災係
【継続事業】 防犯対策事務費	五所川原地区防犯協会等負担金	392	総務課 消防防災係
【継続事業】 防犯灯維持管理事業	防犯灯電気料、防犯灯維持補修	15, 900	総務課 消防防災係
【継続事業】 交通安全施設維持事業	カーブミラー等の修繕	120	総務課 消防防災係

4-7 暮らしと地域の安全を守るまち

(防犯・交通安全)

1 基本方針

- 住民の地域の安全に対する意識の向上を図りながら、地域活動や相談体制などの充実を図り、安全・安心な地域づくりを進めます。
- 住民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図り、関係機関や団体と連携して交通事故を未然に防ぐ環境づくりを進めます。

2 施策での取り組み

4-7-1：地域の防犯・交通安全対策の推進

- 安全で住みよいまちをつくるために、青少年の育成、パトロールなどの見守り活動、交通安全街頭指導をはじめとする啓蒙活動の強化により、地域の防犯・交通安全の充実を図ります。

4-7-2：交通安全施設の整備

- 標識や照明の補修・更新等を行い、安心・安全なまちづくりに努めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1 年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【継続事業】 道路補修事業	町道付属物の標識補修工事費	86,000	環境整備課 土木係

4-7-3：消費者被害に関する情報の提供

- 関係機関との連携のもと、広報・啓発活動をはじめ、消費者向けパンフレットの配布等を通じて、消費者被害の防止に努めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1 年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【継続事業】 消費者行政活性化事業	消費者の安全で安心な消費生活の実現を図るための消費生活相談員のレベルアップ、西北五地域消費者生活相談員に係る負担金	550	総務課 行政係

第5章 持続可能なまちづくり

(協働・行財政運営施策)

5-1 とともに支え合い、行動するまち

(地域コミュニティ・住民協働)

1 基本方針

- 地域・世代間交流、スポーツ・文化活動等を通じて、住民の一体感を醸成するとともに、郷土への愛着や理解を深め、住民との協働による地域づくりを進めます。
- ふるさと中泊町を創生するまちづくりに住民が参加するための組織や仕組みづくり、未来の中泊町を担う人材の育成を推進します。

2 施策での取り組み

5-1-1：地域コミュニティの充実

- 地域活動のきっかけや機会の提供、活動のネットワークづくりのため、地域コミュニティの活動を支援し、ともに支え合う仕組みづくりを進めます。
- 高齢化や過疎化が進む集落においては、地域コミュニティの維持や活性化に向けた取り組みを、地域住民とともに検討します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの事務事業内容	1年間の予算額見込み（千円）	担当部署
【継続事業】 行政連絡員・補助員設置事業	町行政の円滑な運営を図るため行政連絡員及び補助員を設置し、広報等の配布や地区と行政のパイプ役として様々な業務を担う	6,121	総務課 行政係
【継続事業】 社会を明るくする運動	子どもの健やかな成長を願い、犯罪や非行のない明るい社会を築くため、親子の集いを開催	27	総務課 行政係

5-1-2：集落等の整備

- 土地利用整備計画を策定し、新たな住宅地等の開発を進めるとともに、集落内の道路、公園等生活環境の整備を図ります。
- 防雪柵設置や除排雪の徹底により冬期間の交通確保とともに、集落と地域、集落と集

落を結ぶバス路線の確保に努めます。

- 後継者、UIJ ターン者、転入者等に対応した居住環境の整備を図るほか、若者が定住できるような魅力あるまちづくりに努めます。

5-1-3 : 住民参加型のイベント・ワークショップ等の開催

- 人口減少・少子高齢化の加速に歯止めをかけるために、子どもから高齢者など幅広い世代の参加者を募り、住民参加型のイベント・ワークショップ等の開催を通じて、将来の町のあるべき姿を語る意見交換の場づくりを進めます。

5-1-4 : 地方特有の人材育成（各種資格の取得支援）

- 地域の活性化を担う新たな人材を発掘、育成していくために、各種団体の人員の増加、育成に取り組むほか、外部からの講師を招き、地域に根ざした人材を発掘していきます。
- 各種資格の取得支援や専門性の向上を図る講習等を通じて、地域の活性化を担う多様な人材の発掘、育成に努めます。

5-1-5 : まちづくりグループの育成・活動支援

- まちづくりリーダーの育成と活動の支援に努めるとともに、まちづくりグループ・団体の設立や運営を支援します。
- 住民自治組織やまちづくりグループ・団体との協働によって、行政と住民が一体となった事業展開を進めます。

5-1-6 : 中泊町ファンクラブの設立

- 本町のイベントや行事に対して PR や運営を手伝う組織として中泊町ファンクラブを設立し、地域の活性化を支援します。

5-2 男女がともに活躍するまち

(男女共同参画)

1 基本方針

- 性別に関わりなく、誰もがいきいきと暮らし、それぞれの個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、意識の啓発や、女性の社会参画を促す仕組みづくりに努めます。

2 施策での取り組み

5-2-1 : 男女共同参画の推進

- 男女共同参画社会の形成に向け、その指針となる男女共同参画計画に基づく取り組みを推進します。
- 男女の固定的役割分担意識を見直すため、啓発や広報等の活用による情報提供を充実させます。

5-2-2 : 女性の参画機会の確保

- 女性の就労機会の拡大に向けた取り組みや各種審議会等への積極的な参画を進めること等により、様々な分野における参画機会の拡大に向けた環境を整備します。
- 子育て支援の充実等により仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を促進します。
- 女性が活躍する職場環境づくりに向けたモデル環境の形成に向けて、庁内組織における女性の参画機会の確保に取り組みます。

5-2-3 : 女性の権利擁護

- ドメスティック・バイオレンスやセクシャル・ハラスメント等の防止を推進し、女性の人権を守るとともに、個性と能力を十分に発揮できる環境づくりを推進します。

5-3 健全な行財政運営を推進するまち

(行財政運営)

1 基本方針

- 行政課題や住民ニーズに的確に応えていくため、行政改革のさらなる推進と質の高い行政サービスを提供するため、歳入と歳出のバランスのとれた健全な行財政運営を推進します。
- 住民と行政との信頼関係を構築し、協働によるまちづくりを進めるため、個人情報の保護を徹底したうえで、広報活動の充実など、まちづくりへの情報の共有に努めます。

2 施策での取り組み

5-3-1：健全な行財政運営の推進

- 財政状況の分析・公表を行い、事業の重点化・差別化等を図りながら、効果的・効率的な行財政運営を推進します。
- 効率的で効果的な行財政運営に向けて民間活力を活用するなど、行政サービスの向上に取り組みます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 中泊町広報事業	町広報誌など、町の取り組みなどを幅広く町内外へ発信	2,561	総合戦略課 広報係
【継続事業】 中泊町総合戦略策定事業	総合戦略及び地方創生交付金検証等も含めた審議会	90	総合戦略課 企画係
【継続事業】 固定資産評価審査委員会設置事業	固定資産課税台帳の事項に関する不服の審査及び決定	14	総務課 行政係
【継続事業】 情報公開審査委員会設置事業	情報公開の開示請求に対する開示決定等について不服申し立てがあった場合に審査会で審議	23	総務課 行政係
【継続事業】 総合教育委員会設置事業	町長と教育委員会が、円滑に意思疎通を図り、同じ方向性のもと連携して効果的に教育行政を推進するため設置する会議	61	総務課 行政係
【継続事業】 行政不服審査会設置事業	行政不服審査法の規定に基づき、法の規程によりその権限に属させられた事項を処理するため、町長の附属期間として設置	27	総務課 行政係

【継続事業】 各種負担補助事業 (労働諸費)	人権擁護委員及び保護司の活動 に対する補助金	122	総務課 行政係
【継続事業】 労政事務費	労政に係る事務費等	51	総務課 行政係
【継続事業】 各種統計調査事業	海面漁業月別漁獲数量調査、就 業構造基本調査ほか	631	総合戦略課 企画係
【継続事業】 総務課車両管理費	総務課担当車両の維持管理費	2,989	総務課 車両係

5-3-2：各種団体等との意見交換会を反映した町政の推進

- 各種団体等の住民の意見を把握するとともに、町政に対する意向や方向性を共有し、意見を反映した町政を推進します。

5-3-3：ふるさと納税の推進

- ふるさと納税の制度や特産品による各種 PR の強化により、本町への関心や応援者の増加に努め、町外在住の多くの方によるまちづくりへの参画を促します。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 町の魅力 PR 事業 (東京吹雪の会)	町の魅力を首都圏等県外に広 げ、特産品の販売促進やふるさと 納税の寄附金獲得を図る	777	総合戦略課 企画係

5-3-4：町内公共施設等、社会基盤の適正な維持管理

- 新庁舎の建設を含め、すべての公共施設等を対象に、公共施設の将来のあり方などについて検討を行うとともに、様々な手法により維持管理にかかる経費の削減に取り組みます。
- 公共施設の老朽化対策として、すべての公共施設を対象とする総合的な管理計画を策定し、社会基盤や公共施設の適切な配置、老朽化への計画的な維持管理、長寿命化に取り組めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 本庁舎管理費	本庁舎の維持管理のための光熱 水費、管理委託料ほか	34,421	総務課 庶務係

【継続事業】 小泊支所管理費	小泊支所の維持管理のための管理委託料ほか	5,493	小泊支所 管理係
【継続事業】 小泊支所車両管理費	小泊支所の公用車の燃料費、維持管理	1,041	小泊支所 管理係
【継続事業】 財産管理費	公共施設の適正な維持管理のための保険料等	12,321	上下水道課 庶務係

5-3-5 : マイナンバー制度に関する検討

- 個人番号の利用（マイナンバー制度）が開始されたことに伴い、情報管理に対する職員の資質の向上や個人情報の厳重な管理に努めるとともに、マイナンバー制度の利活用についての検討を進めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 マイナンバー制度対応事業（中間サーバプラットフォーム）	サーバシステム保守点検、サーバ運用支援、中間サーバ利用負担金ほか	12,619	総務課 情報管理係
【継続事業】 マイナンバー制度対応事業（住基システム）	住民情報システム・住基ネットシステム業務委託料、通知カード・個人番号カード関連事務委任交付金ほか	7,295	町民課 戸籍住民係

5-3-6 : 職員の能力向上・人材の確保

- 職員一人ひとりの持つ能力や個性を活かし、組織力の拡充を図るために、職員研修計画を策定し、様々な研修を通じて、職員の意識や能力の向上に努めます。
- ワークシェアリングによる若い世代の雇用を図り、人材の確保に取り組みます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 職員研修事業	職員研修旅費	646	総務課 庶務係
【継続事業】 企画事務費	青森未来創造塾等の職員研修旅費	215	総合戦略課 企画係
【継続事業】 例規集整備事業	法律、条令、規則等の現行規定を例規集として編集し、使用料及び賃借料	3,231	総務課 行政係

5-4 とともに地域の発展を推進するまち

(広域行政・地域間連携)

1 基本方針

- 日常生活圏の拡大や経済活動の広域化に伴い、行政区域を越えた広域での共通課題や合理化できる事務については、広域的な事業展開による住民サービスの質の向上及び効率的な運営を目指し、国内外や県内、つがる西北五圏域の自治体との地域間連携・協力を進めます。

2 施策での取り組み

5-4-1：広域行政の推進

- 近隣市町村との連携・協力のもと、生活機能等の確保に向けた検討や課題解決を図り、広域行政におけるサービスの安定化を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 各種負担補助事業	県企業誘致推進協議会等負担金	619	総合戦略課 企画係
【継続事業】 県広報紙配布事業	県広報紙配布費用	171	総合戦略課 広報係

5-4-2：つがる西北五圏域の自治体との地域間連携

- つがる西北五圏域において様々な生活課題等を共有し、地域経済・生活関連機能のサービスの向上に向けた広域連携を推進します。
- 北海道新幹線開業による日本海側への新たな観光客の取り込み策として、つがる西北五圏域の自治体と連携して、それぞれの地域特性を活かした圏域内への観光客の誘引を図るとともに、奥津軽いまべつ駅からの2次交通アクセスについて検討を進めます。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1 年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【継続事業】 つがる西北五広域連合負担 金	つがる西北五広域連合総務費負 担金	2,921	総合戦略課 企画係

5-4-3 : 国内外や県内との地域間交流

- 沖縄県久米島町をはじめ、国内外との産業・文化・人材などまちづくり、子どもたちの相互訪問による交流のほか、産業・歴史・文化・教育・まちづくり等を通じた地域間交流は、本町への新たな発展につながる活力ともなるため、引き続き様々な機会を通じて、多様な地域間交流を促進します。
- 北海道新幹線（新青森駅～新函館北斗駅）が開通したことから道南地域との相互交流を図り、津軽海峡エリアの連携を強め、地域の活性化を促進します。
- 遠隔地との地域間交流は、災害時の相互応援等、有事の際、リスク分散にもつながることから、様々な分野で交流機会の拡大を図ります。
- 青少年を国内・国外へ積極的に派遣し、交流をすることでコミュニケーション能力や国際感覚を身につけた人材の育成を図ります。

【1年間の予算額見込み（千円）は年度によって若干変動します】

事務事業名	平成 29～31 年度までの 事務事業内容	1年間の予 算額見込み (千円)	担当部署
【新規事業】 国内交流事業	旧中里町で交流を行っていた沖 縄県久米島町との交流事業	2,170	総合戦略課 企画係
【継続事業】 官学連携事業	協定締結した大学等との連携を 強化するため、協定内容に沿った 活動の推進	367	総合戦略課 企画係